

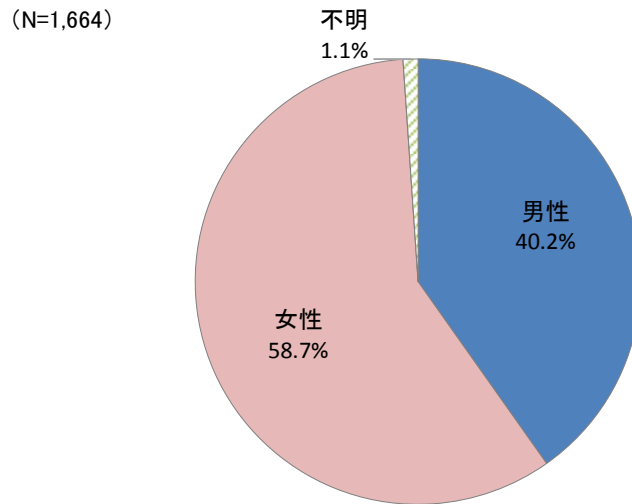
## Ⅱ. 調査結果

### 1. 回答者の基本属性

#### (1) 性別構成

性別については「男性」が40.2%、「女性」が58.7%となっている。

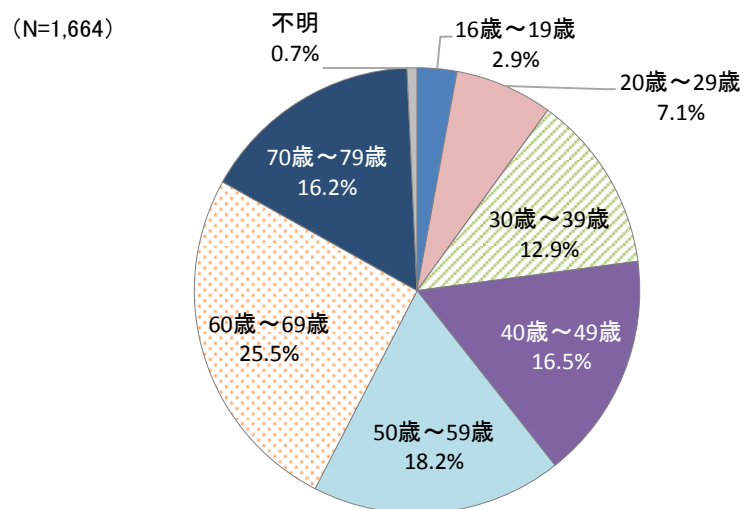
図表 1-1 性別構成



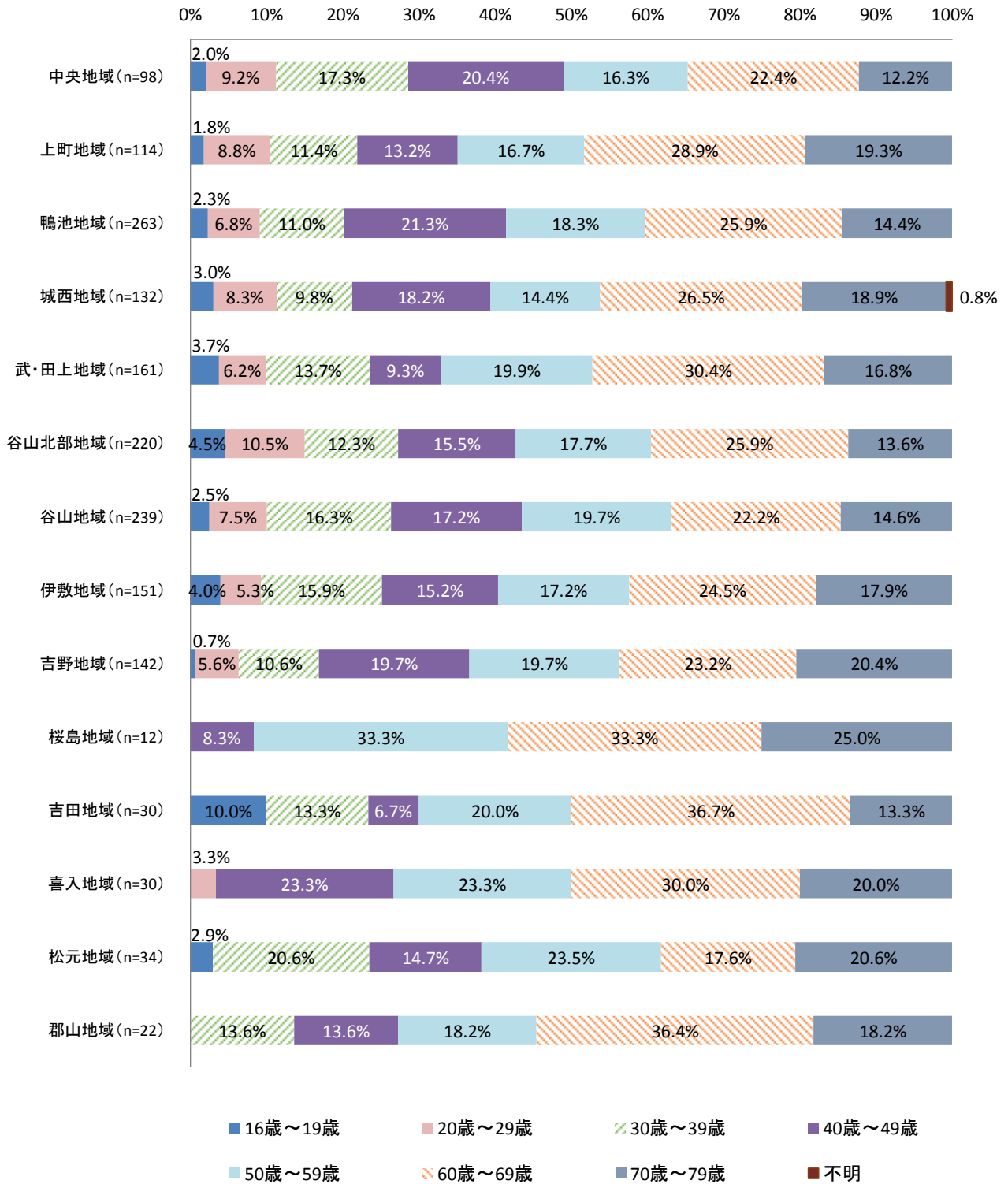
#### (2) 年齢別構成

年齢については、「60歳～69歳」が25.5%で最も多く、次いで「50歳～59歳」が18.2%、「40歳～49歳」が16.5%となっている。

図表 1-2 年齢別構成



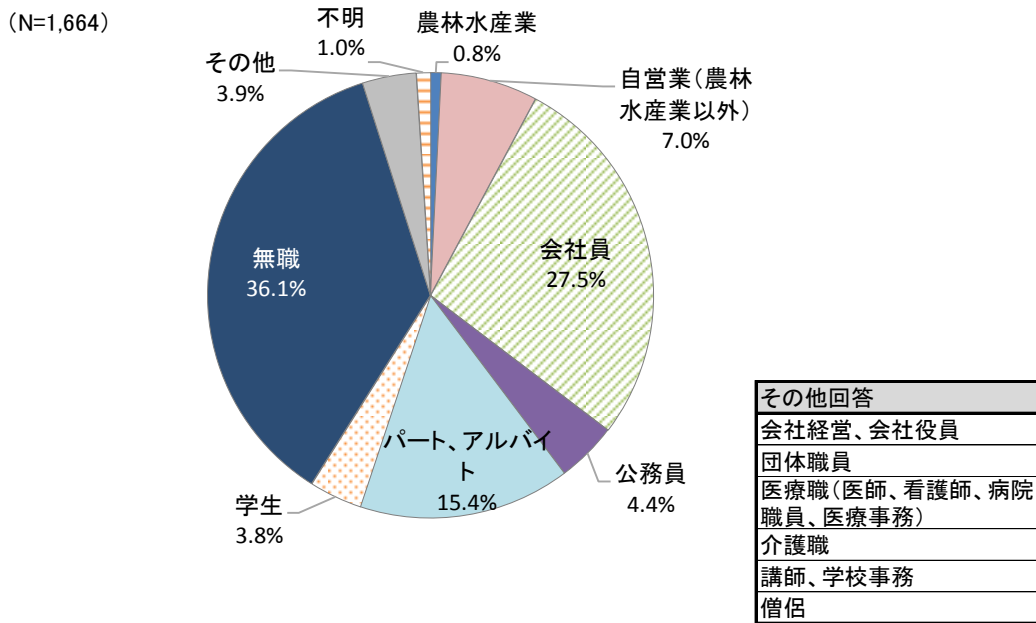
図表 1-3 地域別の年齢別構成



### (3) 職業別構成

職業については、「無職」が36.1%で最も多く、次いで「会社員」が27.5%、「パート、アルバイト」が15.4%となっている。

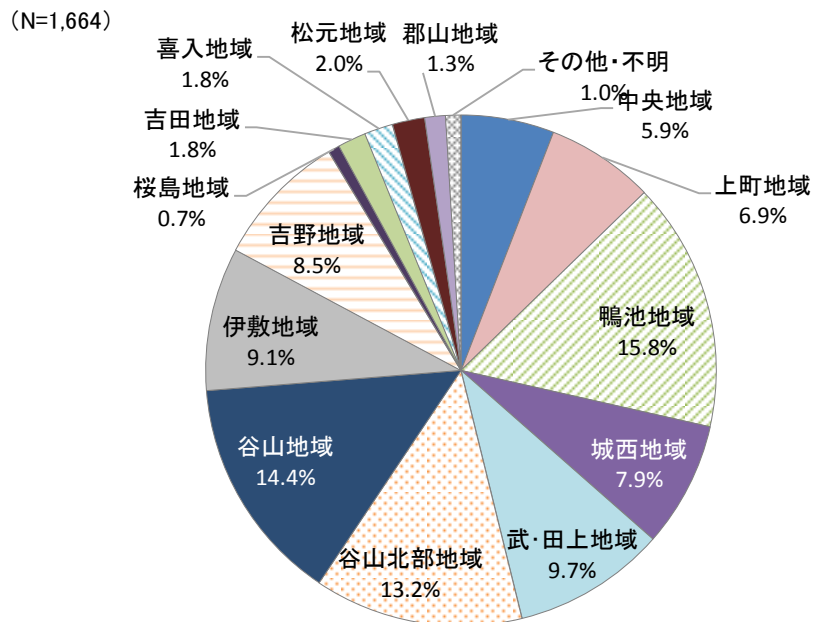
図表 1-4 職業別構成



### (4) 地域別構成

居住地については、「鴨池地域」が15.8%と最も多く、次いで「谷山地域」が14.4%、「谷山北部地域」が13.2%となっている。

図表 1-5 地域別構成



## 2. 世帯でのインターネットの利用状況及び情報通信機器の保有状況

### (1) 世帯でのインターネット利用率

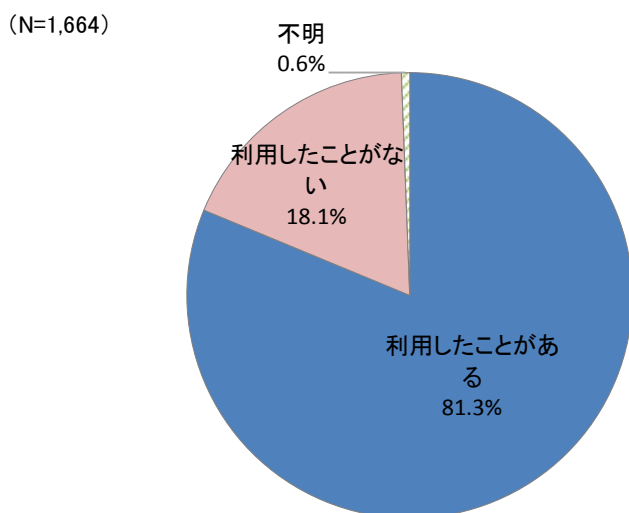
問1. あなたの世帯では、ご家族のどなたかが過去1年間にインターネット（パソコンや携帯電話等からのメールの送受信、ホームページの閲覧など）を利用したことがありますか。次の中から当てはまる番号1つに○印をつけてください。〈単一回答〉

世帯でのインターネット利用状況については、「利用したことがある」が81.3%、「利用したことがない」が18.1%となっている。（図表2-1 参照）

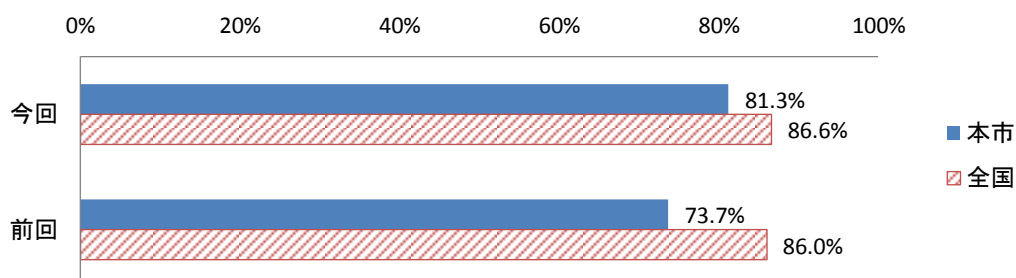
インターネットを利用している世帯を前回と比較すると、7.6ポイント増加している。

また、全国平均と比較して、下回っている割合は、前回の12.3ポイントから、今回は、5.3ポイントに縮まっている。（図表2-2 参照）

図表 2-1 インターネット利用状況（世帯）

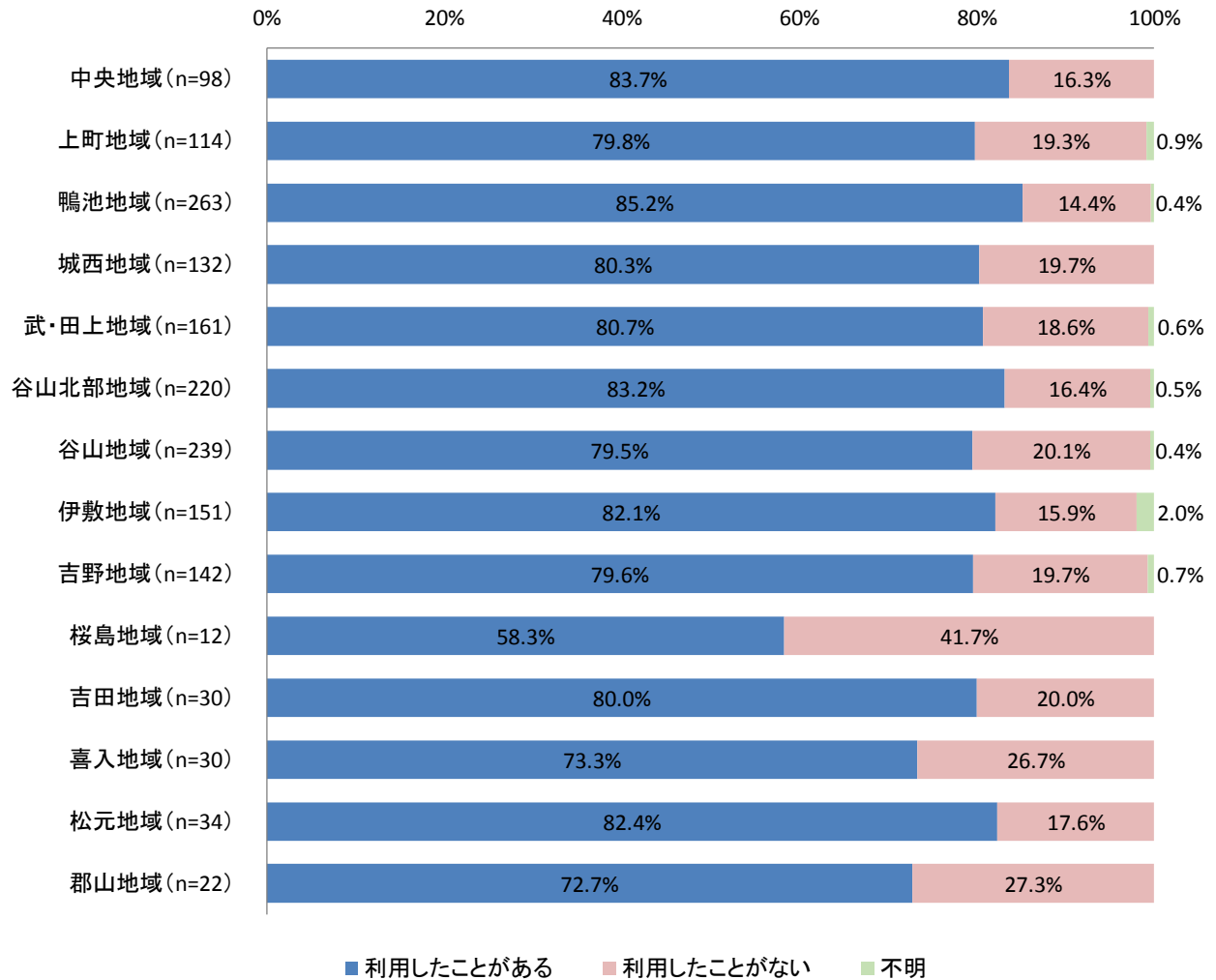


図表 2-2 インターネット利用率（世帯）の推移



地域別にみると、「利用したことがある」が8つの地域で80%台、5つの地域で70%台となっているが、「桜島地域」においては50%台となっている。(図表 2-3 参照)

図表 2-3 地域別のインターネット利用状況 (世帯)



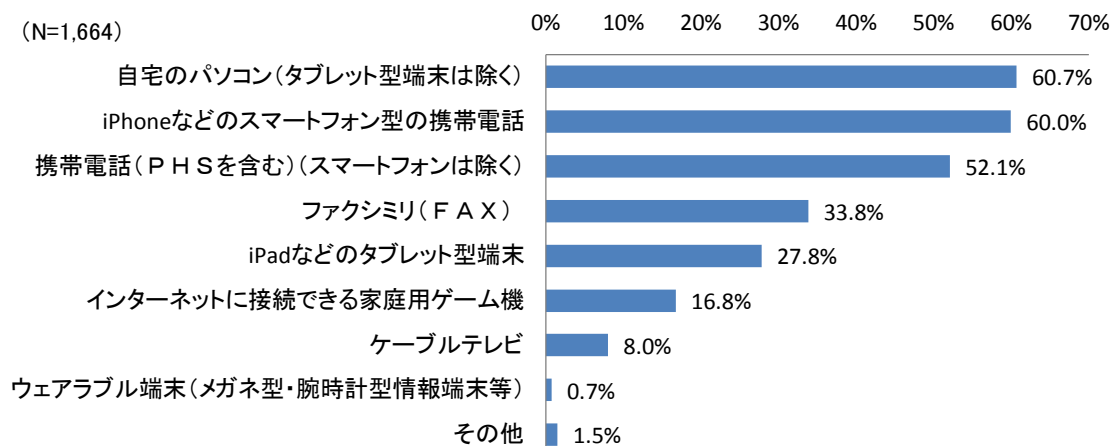
## (2) 情報通信機器の保有率

問2 (1). あなたの世帯では、次の情報通信機器を保有していますか。次の中から当てはまる番号すべてに○印をつけてください。(ご家族のうち、どなたかが保有しているものも含めます。) <複数回答>

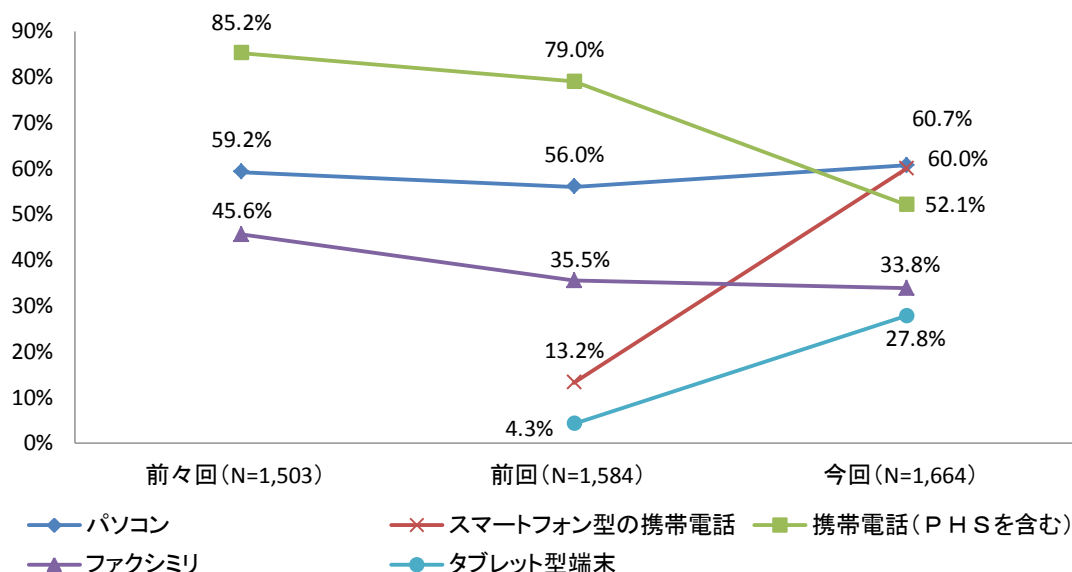
家庭における情報通信機器の保有率については、「自宅のパソコン(タブレット型端末は除く)」が60.7%と最も多く、次いで「iPhoneなどのスマートフォン型の携帯電話」が60.0%、「携帯電話(PHSを含む)(スマートフォンは除く)」が52.1%となっている。なお「ウェアラブル端末(メガネ型・腕時計型情報端末等)」は今回初調査となっている。(図表2-4参照)

保有率の推移をみると、前回まで上位であった「携帯電話(PHSを含む)(スマートフォンは除く)」が26.9ポイントと減少した一方、前回から調査項目に加わった「スマートフォン型の携帯電話」が46.8ポイントと増加している。また、「タブレット型端末」も23.5ポイントと増加しており、「スマートフォン型の携帯電話」、「タブレット型端末」の急速な普及が伺える結果となっている。(図表2-5参照)

図表 2-4 情報通信機器の保有率



図表 2-5 主な情報通信機器の保有率の推移



※比較上の注意点

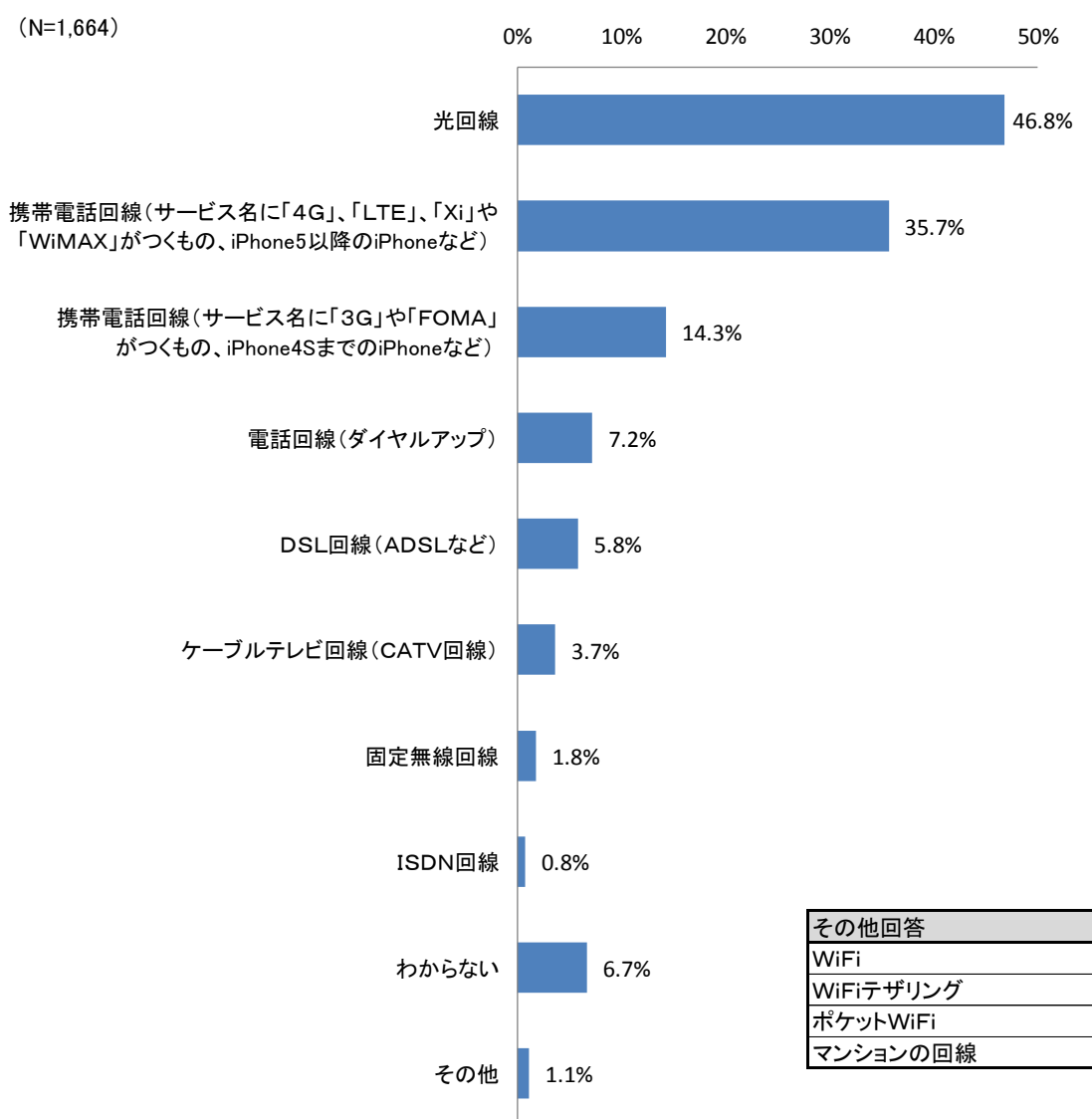
・前回及び前々回調査では「携帯電話」「PHS」が分かれていたため、値は合算値で表示(図表2-5)

### (3) 自宅でのインターネット接続回線

問2(2).「自宅」でインターネットを利用している場合、どのような回線で利用していますか。  
次の中から当てはまる番号すべてに○印をつけてください。〈複数回答〉

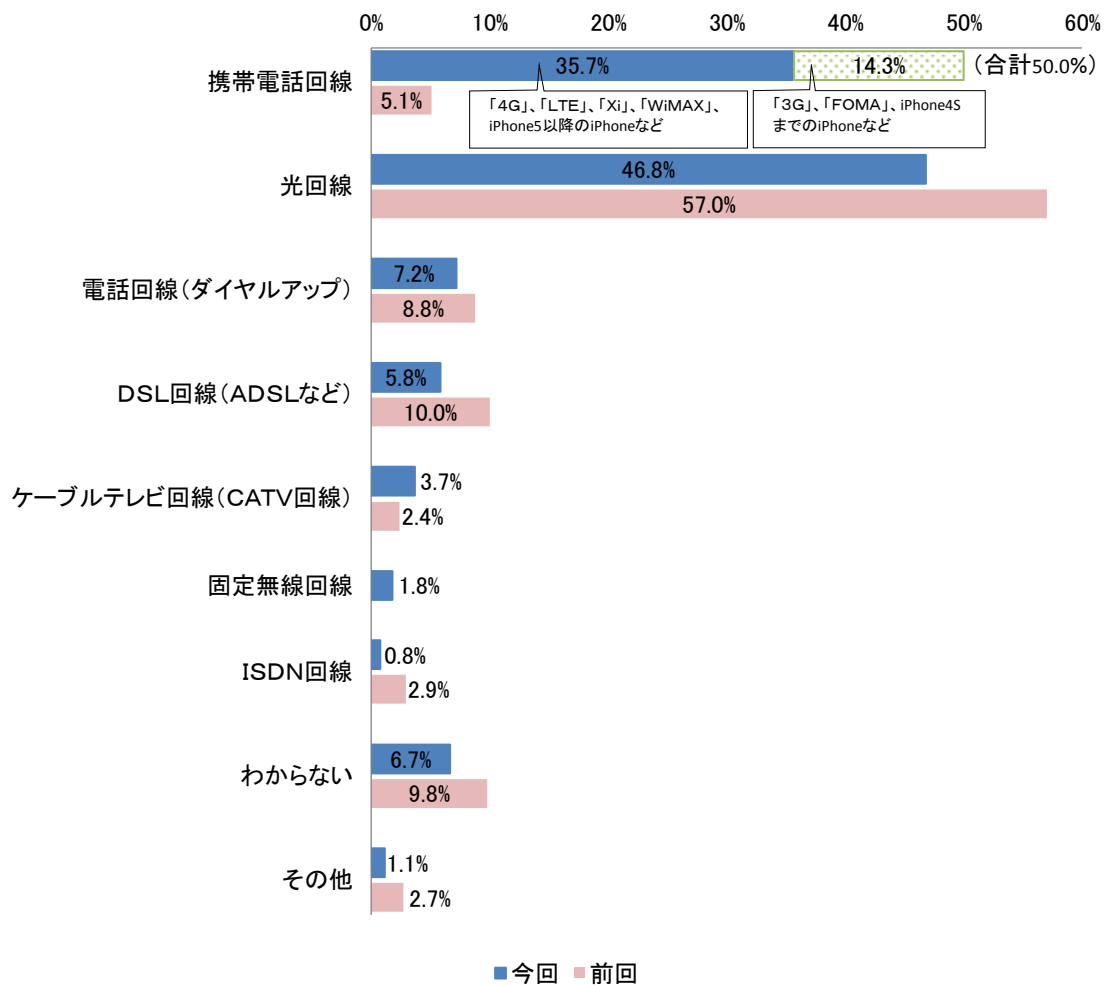
自宅でのインターネット接続回線については、「光回線」が46.8%と最も多く、次いで「携帯電話回線（サービス名に「4G」、「LTE」、「Xi」や「WiMAX」がつくもの、iPhone5以降のiPhoneなど）」が35.7%、「携帯電話回線（サービス名に「3G」や「FOMA」がつくもの、iPhone4SまでのiPhoneなど）」が14.3%となっている。（図表2-6参照）

図表2-6 自宅でのインターネット接続回線



前回と比較すると、「携帯電話回線」が 44.9 ポイントと増加し、「光回線」は 10.2 ポイント減少している。これは、スマートフォン等の普及に伴い、光回線と同様の高速な携帯電話回線である「4G」や「LTE」などのサービス利用者が増えたことによるものと考えられる。(図表 2-7 参照)

図表 2-7 自宅でのインターネット接続回線の比較



※比較上の注意点

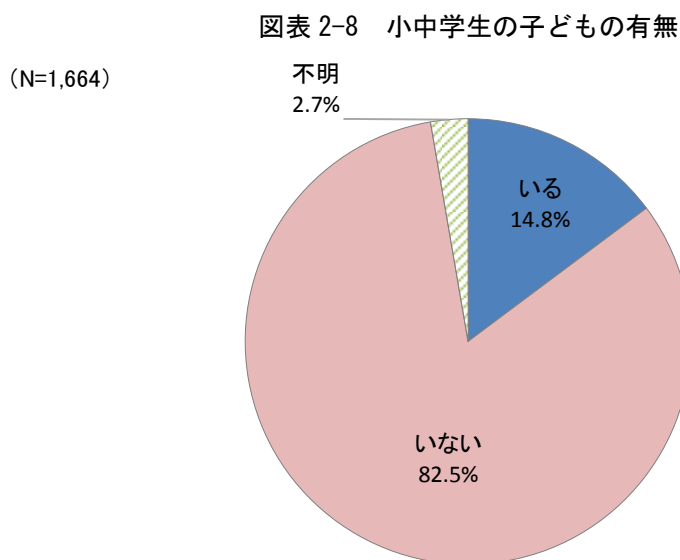
- ・ 前回調査：自宅でのパソコンによるインターネット接続回線が対象
- ・ 今回調査：自宅でのインターネット接続回線が対象



#### (4) 小中学生の子ども専用のタブレット型端末等の保有状況

問3 (1). あなたの世帯には、小中学生の子どもがいますか。次の中から当てはまる番号1つに○印をつけてください。〈単一回答〉

小中学生の子どもについては、「いる」が14.8%、「いない」が82.5%となっている。(図表2-8参照)

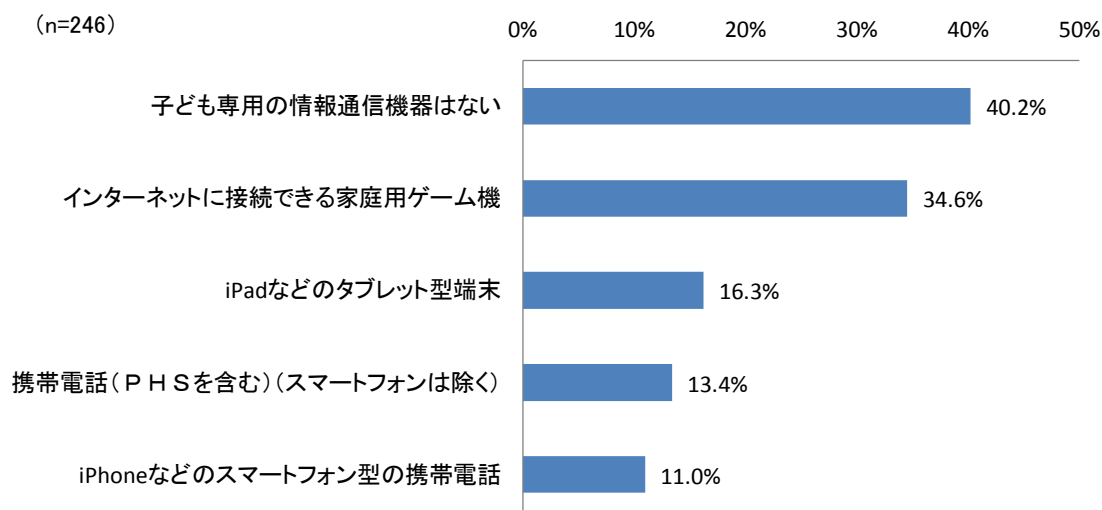


問3 (2). 問3 (1)で「1. いる」を選んだ方におたずねします。

あなたの世帯には、小中学生の子ども専用のタブレット型端末等がありますか。次の中から当てはまる番号すべてに○印をつけてください。〈複数回答〉

子ども専用のタブレット型端末等があるかについては、「子ども専用の情報通信機器はない」が40.2%と最も多く、次いで「インターネットに接続できる家庭用ゲーム機」が34.6%、「iPadなどのタブレット型端末」が16.3%となっている。小中学生の子どもについては、「携帯電話」に比べ「ゲーム機」の占める割合が多くなっている。(図表2-9参照)

図表 2-9 子ども専用のタブレット型端末等の保有状況



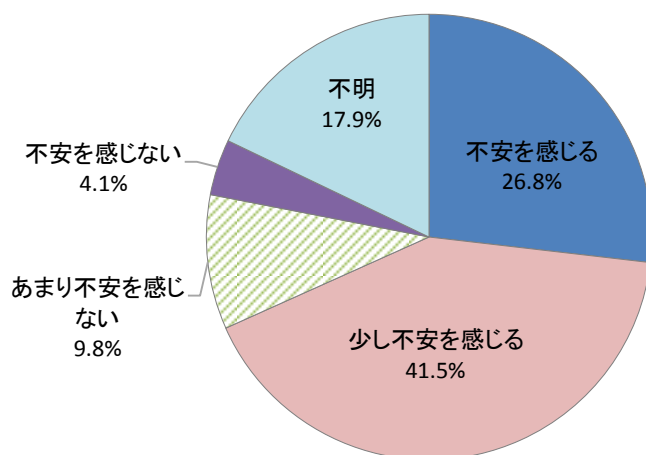
問3 (3). 問3 (1) で「1. いる」を選んだ方におたずねします。

小中学生の子どもが専用のタブレット型端末、携帯電話、スマートフォン、インターネットに接続できる家庭用ゲーム機を保有することに対して、不安を感じますか。次の中から当てはまる番号1つに○印をつけてください。〈単一回答〉

子どもが専用のタブレット型端末等を保有することに不安を感じるかについては、「少し不安を感じる」が41.5%と最も多く、次いで「不安を感じる」が26.8%、「あまり不安を感じない」が9.8%となっている。「不安を感じる」と「少し不安を感じる」の合計は約7割を占めており、タブレット型端末等を保有することを多くの親が不安に感じている。(図表 2-10 参照)

図表 2-10 子ども専用のタブレット型端末等の保有に対する不安感

(n=246)



### 3. 個人でのインターネットの利用状況及び情報通信機器の利用状況

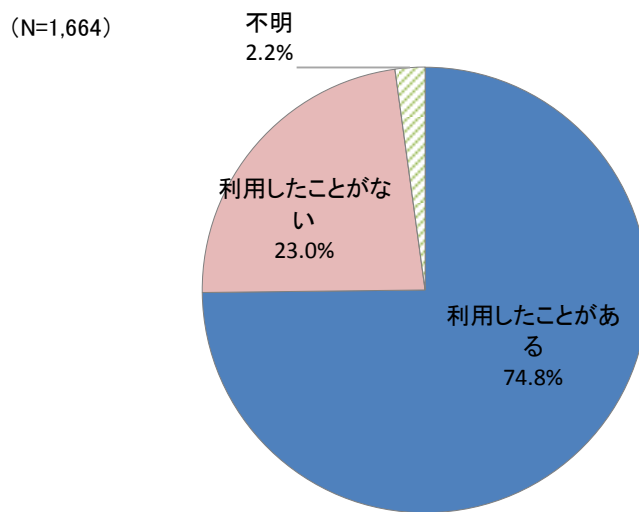
#### (1) 個人でのインターネット利用率

問4. 過去1年間にインターネット（パソコンや携帯電話等からのメールの送受信、ホームページの閲覧など）を利用したことがありますか。次の中から当てはまる番号1つに○印をつけてください。〈単一回答〉

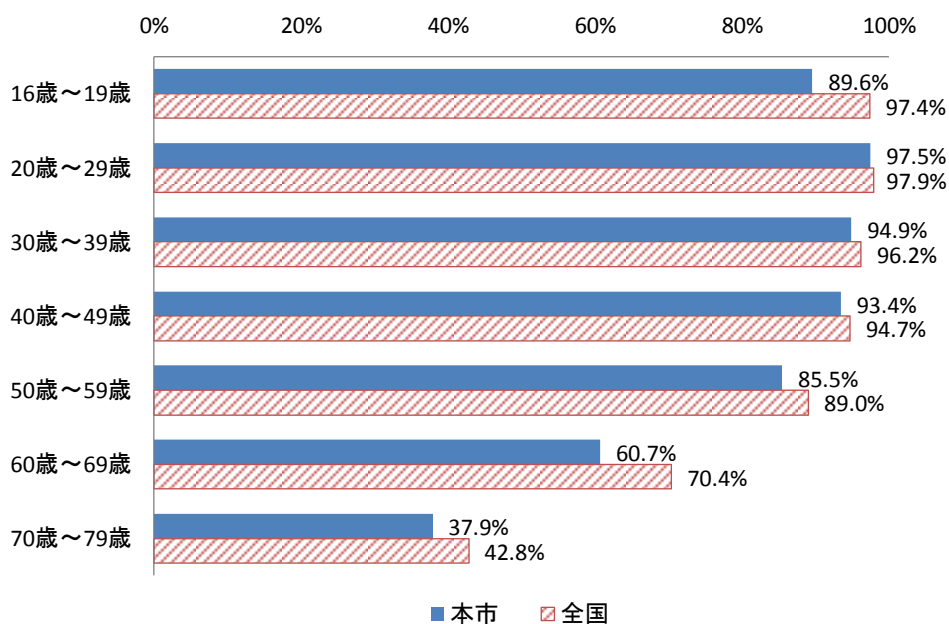
過去1年間のインターネットの利用状況については、「利用したことがある」が74.8%、「利用したことがない」が23.0%となっている。（図表3-1 参照）

年齢階層別に全国平均と比較すると、全ての年代において全国平均を下回っており、60代においては9.7ポイント下回っている。（図表3-2 参照）

図表3-1 インターネットの利用状況（個人）



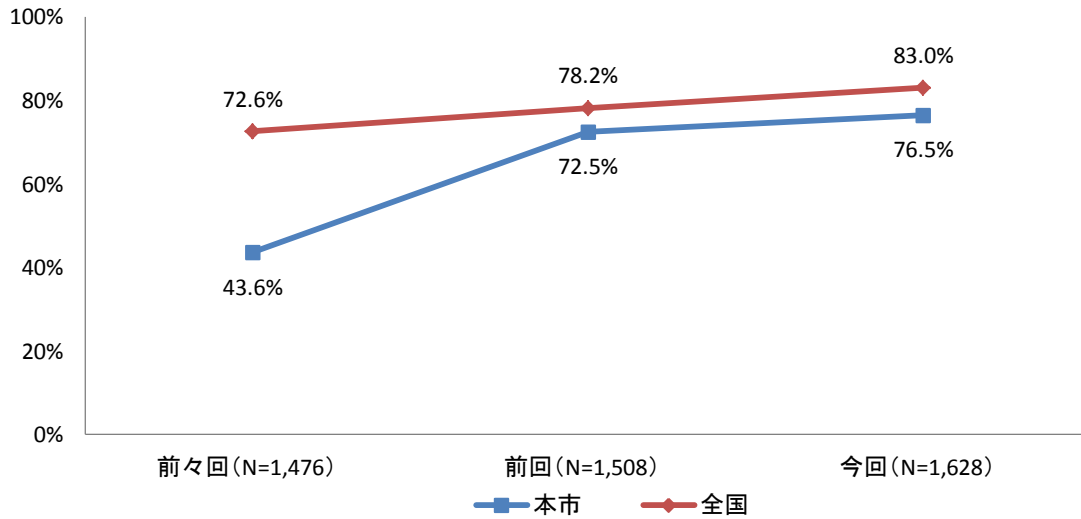
図表3-2 年齢階層別のインターネット利用率（本調査と全国平均との比較）



※比較上の注意点  
 ・全国の「16歳～19歳」は「15歳～19歳」の数値を表記している（図表3-2）

個人でのインターネット利用率については、前回と比較して 4.0 ポイント増加している。前回は前々回に比べ 28.9 ポイントと大きく増加したが、今回は微増となっている。  
また、全国平均と比較すると、6.5 ポイント下回っている。(図表 3-3 参照)

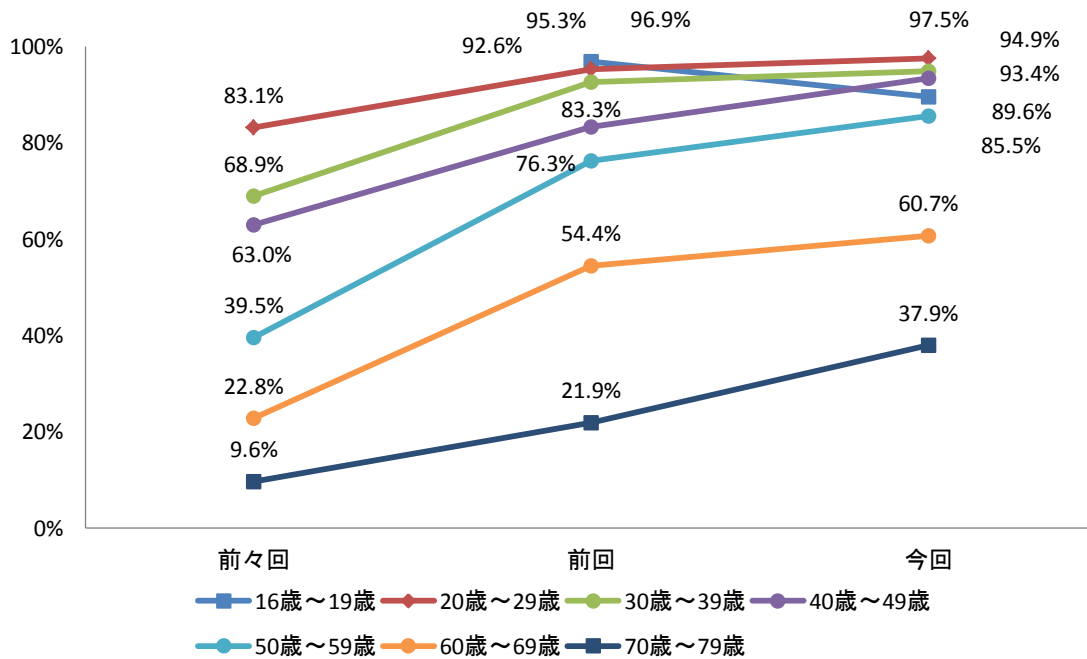
図表 3-3 インターネット利用率（個人）の推移（本調査と全国平均との比較）



※比較上の注意点

・全国値が無回答を除く値を用いているため、本市の値も無回答を除いている。(図表 3-3)

図表 3-4 年齢別のインターネット利用率（個人）の推移



※比較上の注意点

・前々回は 20 歳以上を調査対象としていたため、「16 歳～19 歳」のデータはなし。  
・前回の割合は、無回答を含み算出のため、前回報告書の数値とは異なる。(図表 3-4)

## (2) インターネットの利用機器

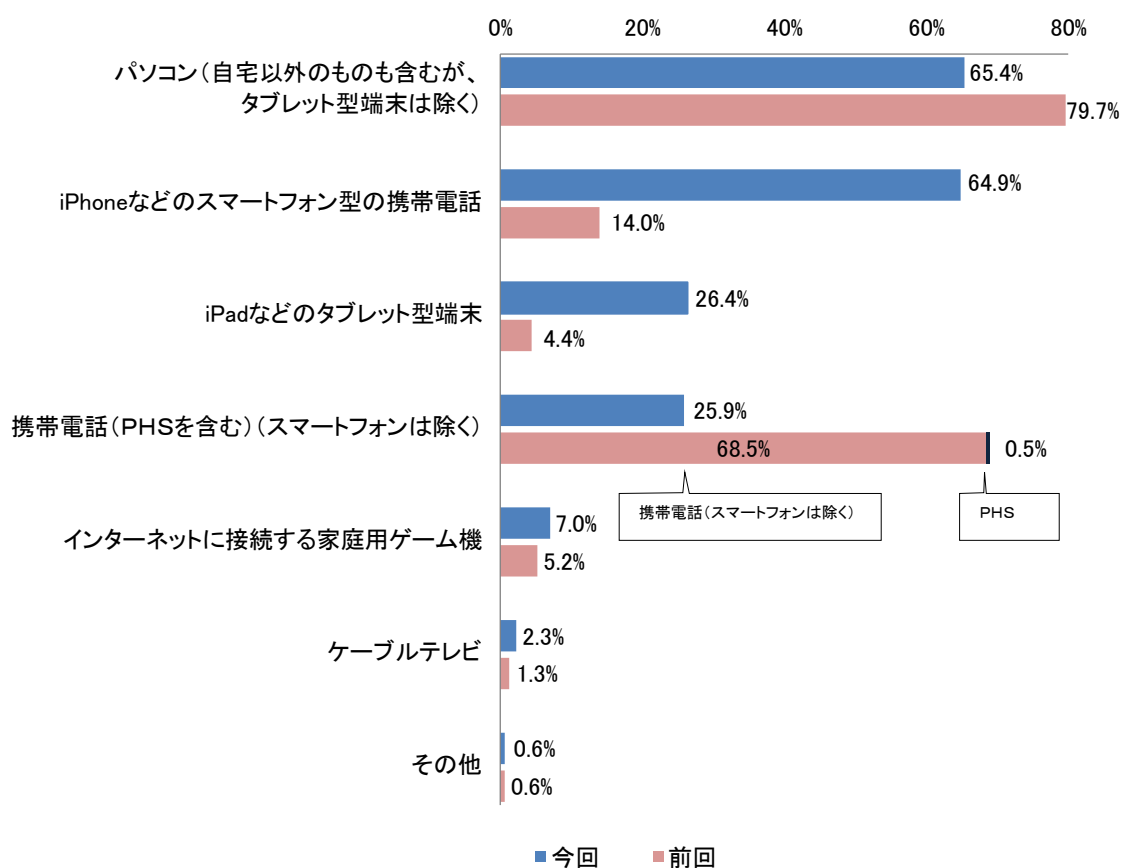
問5. 問4で「1. 利用したことがある」を選んだ方におたずねします。

(1) 過去1年間に、どのような機器でインターネットを利用しましたか。次の中から当てはまる番号すべてに○印をつけてください。〈複数回答〉

インターネットで利用した機器については、「パソコン（自宅以外のもも含むが、タブレット型端末は除く）」が65.4%と最も多く、次いで「iPhoneなどのスマートフォン型の携帯電話」が64.9%、「iPadなどのタブレット型端末」が26.4%、「携帯電話（PHSを含む）（スマートフォンは除く）」が25.9%となっている。

前回と比較すると、「iPhoneなどのスマートフォン型の携帯電話」が50.9ポイントと増加し、「パソコン（自宅以外のもも含むが、タブレット型端末は除く）」は14.3ポイント減少している。また、「携帯電話（PHSを含む）（スマートフォンは除く）」が42.6ポイント減少していることから、スマートフォン等の普及によるものと考えられる。（図表3-5参照）

図表3-5 インターネットの利用機器

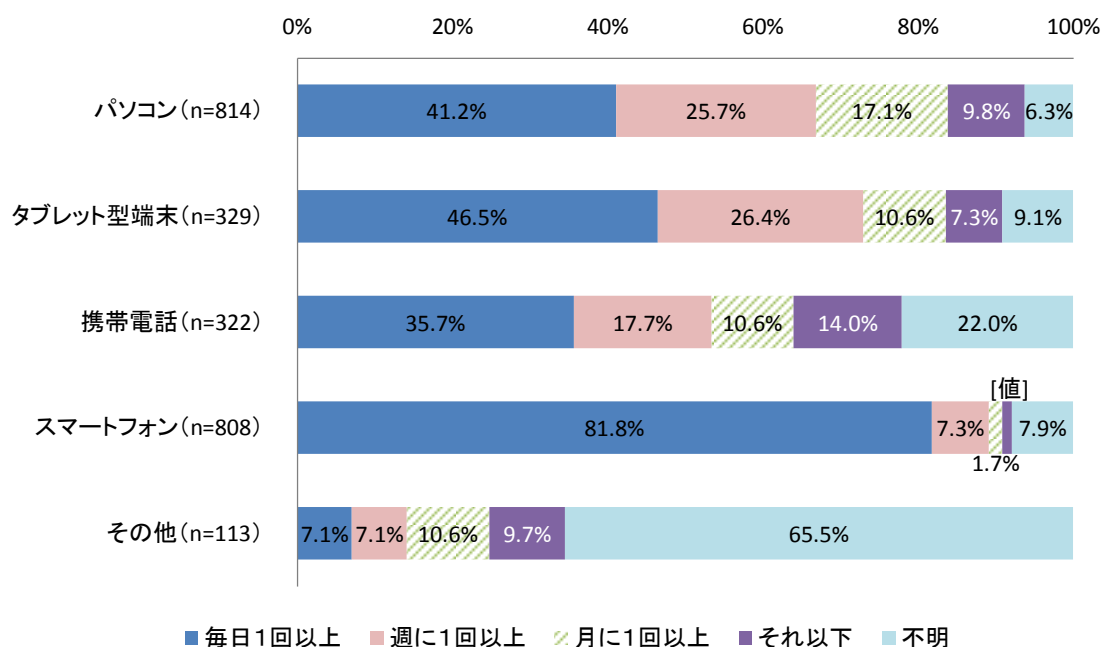


### (3) インターネットの利用頻度

問5 (2). インターネットをどれくらいの頻度で利用しましたか。利用したことのある情報通信機器ごとに、当てはまる番号1つに○印をつけてください。〈単一回答〉

利用機器別のインターネット利用頻度については、「毎日1回以上」と回答した人は、「スマートフォン」で81.8%となっており、他に比べて大きな割合を占めている。「週に1回以上」の回答者を加えると、約9割が週に1回以上の頻度で利用している状況が伺える。「パソコン」、「タブレット型端末」、「携帯電話」では「毎日1回以上」の回答者はそれぞれ5割を下回っている。(図表3-6参照)

図表 3-6 利用機器別のインターネット利用頻度



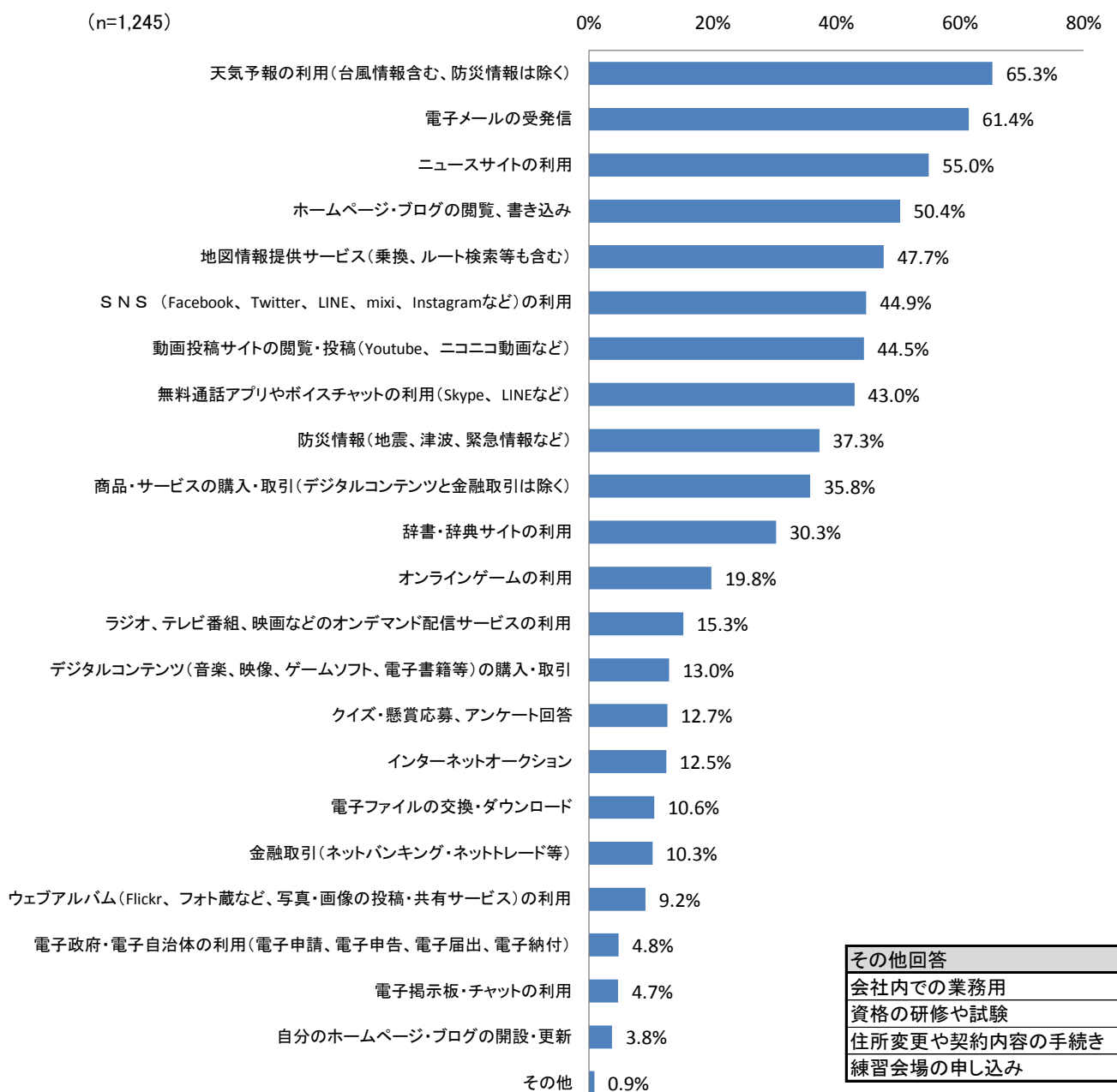
#### (4) インターネットで利用するサービス

問5 (3). どのようなインターネットのサービスを利用していますか。次の中から当てはまる番号すべてに○印をつけてください。〈複数回答〉

インターネットで利用するサービスについては、「天気予報の利用（台風情報含む、防災情報は除く）」が65.3%と最も多く、次いで「電子メールの受発信」が61.4%、「ニュースサイトの利用」が55.0%となっている。（図表 3-7 参照）

年齢階層別にみると、10代では「動画投稿サイトの閲覧・投稿（Youtube、ニコニコ動画など）」、20代では「無料通話アプリやボイスチャットの利用（Skype、LINEなど）」「SNS（Facebook、Twitter、LINE、mixi、Instagramなど）の利用」、30代・50代・60代・70代では「天気予報の利用（台風情報含む、防災情報は除く）」、40代では「電子メールの受発信」が最も多くなっている。（図表 3-8 参照）

図表 3-7 インターネットで利用するサービス



図表 3-8 年齢階層別のインターネットで利用するサービス

	1 位		2 位	
10 代	動画投稿サイトの閲覧・投稿 (Youtube、ニコニコ動画など)	79.1%	SNSの利用 (Facebook、Twitter、LINE、mixi、Instagram など)	76.7%
20 代	無料通話アプリやボイスチャットの利用 (Skype、LINE など)	81.7%	動画投稿サイトの閲覧・投稿 (Youtube、ニコニコ動画など)	80.9%
	SNSの利用 (Facebook、Twitter、LINE、mixi、Instagram など)	81.7%		
30 代	天気予報の利用 (台風情報含む、防災情報は除く)	70.1%	SNSの利用 (Facebook、Twitter、LINE、mixi、Instagram など)	69.1%
40 代	電子メールの受発信	69.9%	天気予報の利用 (台風情報含む、防災情報は除く)	69.5%
50 代	天気予報の利用 (台風情報含む、防災情報は除く)	69.5%	電子メールの受発信	62.2%
60 代		60.5%		59.7%
70 代		51.0%		46.1%



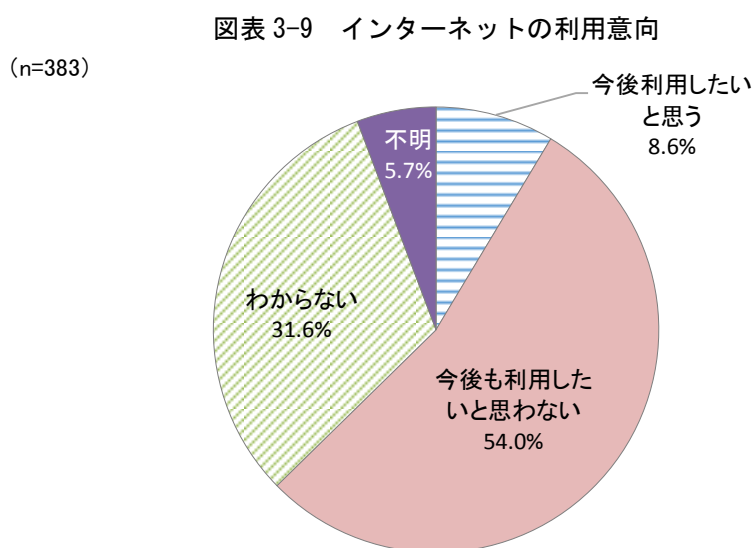
(5) インターネットの利用意向

問5 (4). 問4で「2. 利用したことがない」を選んだ方におたずねします。

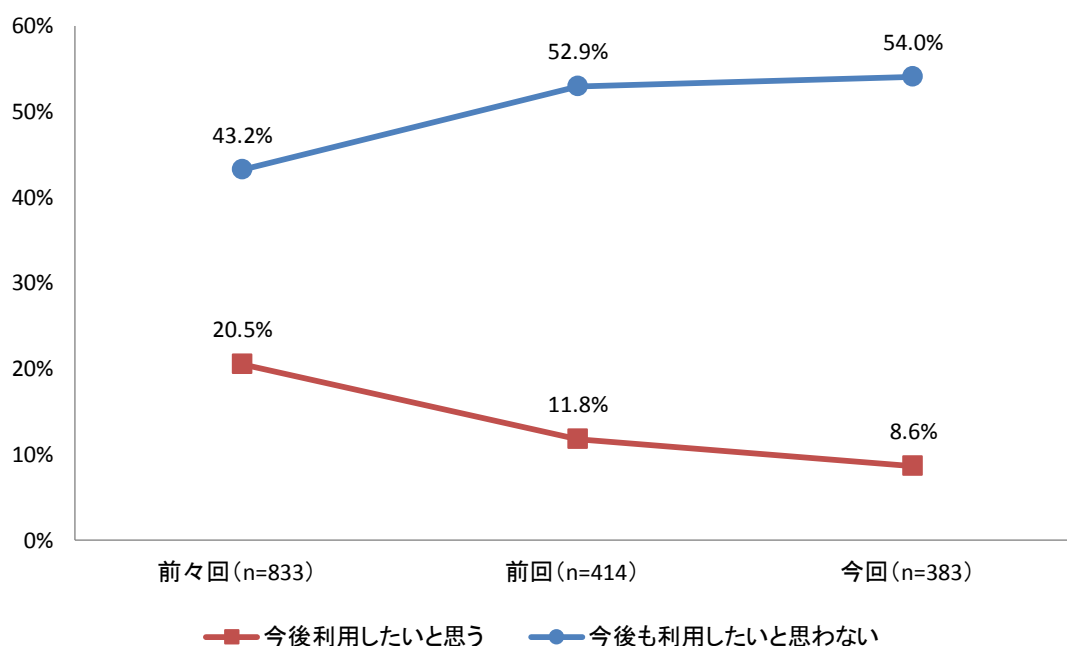
今後インターネットを利用したいと思いますか。次の中から当てはまる番号 1 つに○印をつけてください。〈単一回答〉

インターネット非利用者において、「今後利用したいと思う」が 8.6%、「今後も利用したいと思わない」が 54.0%で「今後利用したいと思う」を 45.4 ポイント上回った。

前回、前々回調査と比較すると「今後利用したいと思う」の割合は減少傾向、「今後も利用したいと思わない」の割合は増加傾向にある。(図表 3-9、3-10 参照)

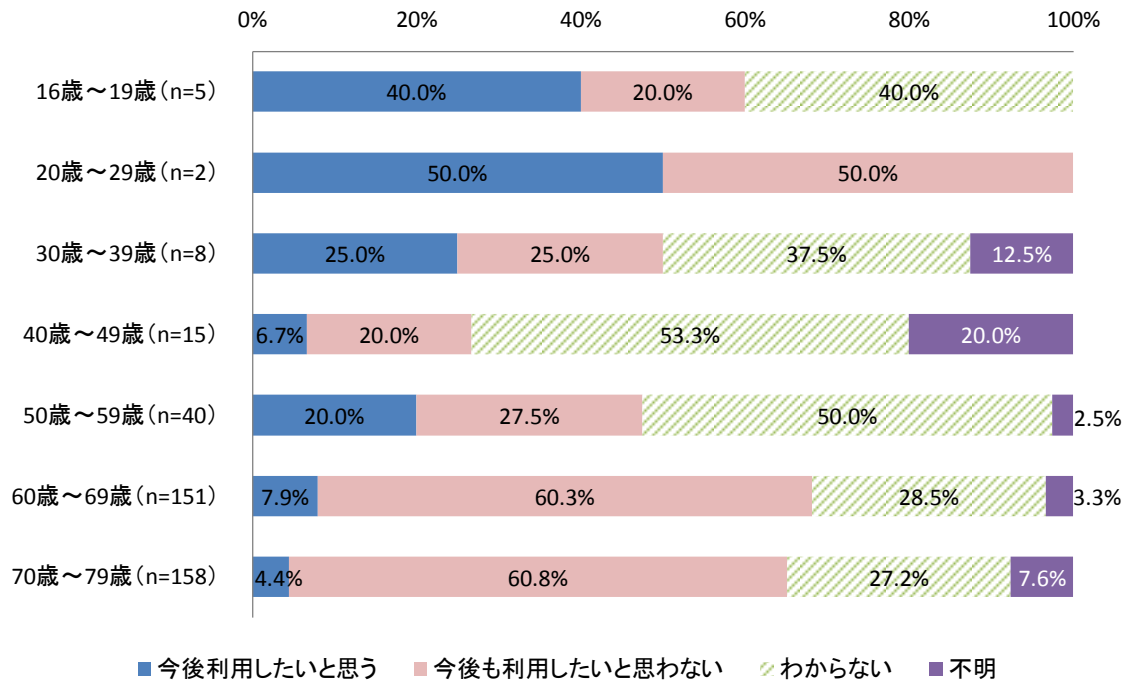


図表 3-10 インターネットの利用意向



年齢階層別にみると、60代、70代において「今後利用したいと思わない」の割合は、約6割となっている。(図表3-11参照)

図表3-11 年齢階層別のインターネットの利用意向



(6) インターネットを利用して感じる不安や不満、または利用しない理由

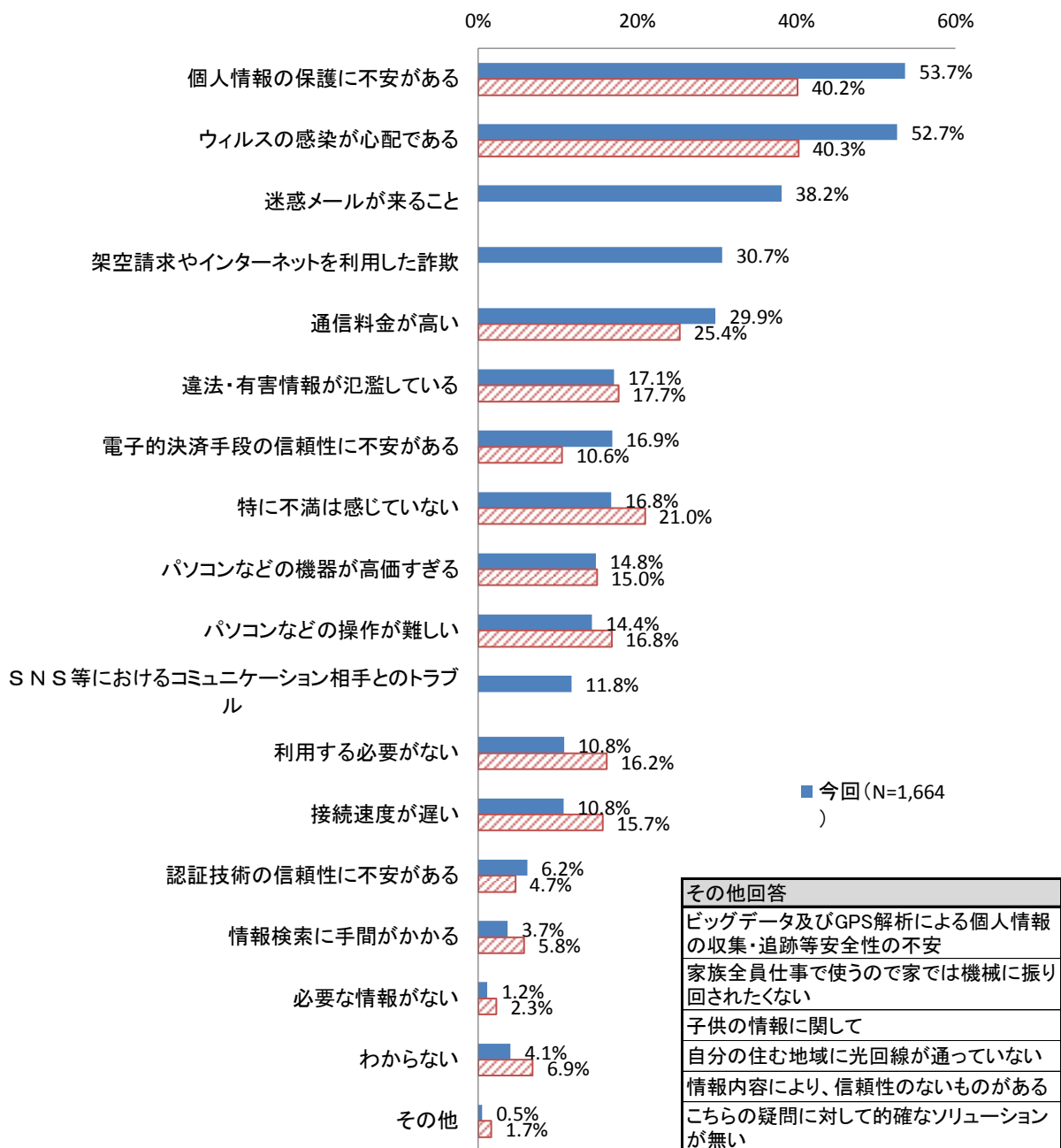
問6. すべての方におたずねします。

現在、インターネットを利用して感じる不安や不満、または利用していない理由は何ですか。次の中から当てはまる番号すべてに○印をつけてください。〈複数回答〉

インターネットを利用して感じる不安や不満、インターネットを利用しない理由については、「個人情報の保護に不安がある」が53.7%と最も多く、次いで「ウィルスの感染が心配である」が52.7%、「迷惑メールが来ること」が38.2%となっている。

前回と比較すると、「個人情報の保護に不安がある」は13.5ポイント、次いで「ウィルスの感染が心配である」は12.4ポイントと増加している。(図表3-12参照)

図表3-12 インターネットを利用して感じる不安や不満、または利用しない理由

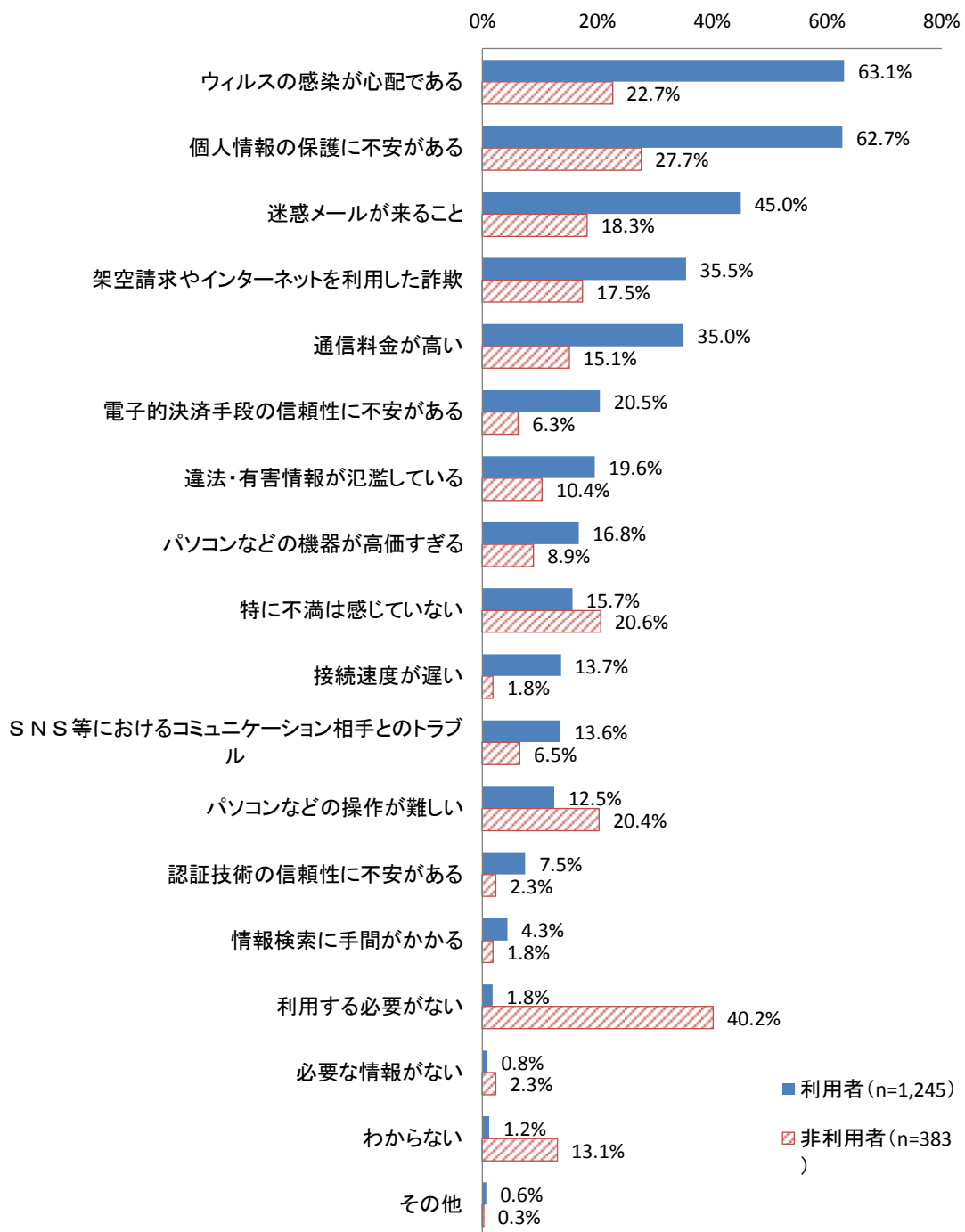


※比較上の注意点

・前回調査では「迷惑メールが来ること」「架空請求やインターネットを利用した詐欺」「SNS等におけるコミュニケーション相手とのトラブル」が項目になかったため、比較対象外(図表3-12)

インターネット利用者において、インターネットを利用して感じる不安や不満については、「ウィルスの感染が心配である」が 63.1%と最も多く、次いで「個人情報の保護に不安がある」が 62.7%、「迷惑メールが来ること」が 45.0%となっている。一方、インターネット非利用者において、インターネットを利用しない理由については、「利用する必要がない」が 40.2%と最も多く、次いで「個人情報の保護に不安がある」が 27.7%、「ウィルスの感染が心配である」が 22.7%となっている。(図表 3-13 参照)

図表 3-13 インターネットを利用して感じる不安や不満、または利用しない理由の比較



年齢階層別にみると、70代では「利用する必要がない」が最も多くなっているが、各年代において、「個人情報の保護に不安がある」「ウィルスの感染が心配である」といった、情報セキュリティに関する不安や不満が上位を占めている。(図表 3-14 参照)

図表 3-14 年齢階層別のインターネットを利用して感じる不安や不満、インターネットを利用しない理由

	1 位		2 位	
	10 代	個人情報の保護に不安がある	58.3%	ウィルスの感染が心配である
20 代	64.4%		62.7%	
30 代	個人情報の保護に不安がある	67.9%	迷惑メールが来ること	51.2%
	ウィルスの感染が心配である	67.9%		
40 代	個人情報の保護に不安がある	61.7%		46.4%
	ウィルスの感染が心配である	61.7%		
50 代	ウィルスの感染が心配である	64.0%	個人情報の保護に不安がある	63.0%
60 代	個人情報の保護に不安がある	48.0%	ウィルスの感染が心配である	45.2%
70 代	利用する必要がない	33.1%	個人情報の保護に不安がある	27.9%

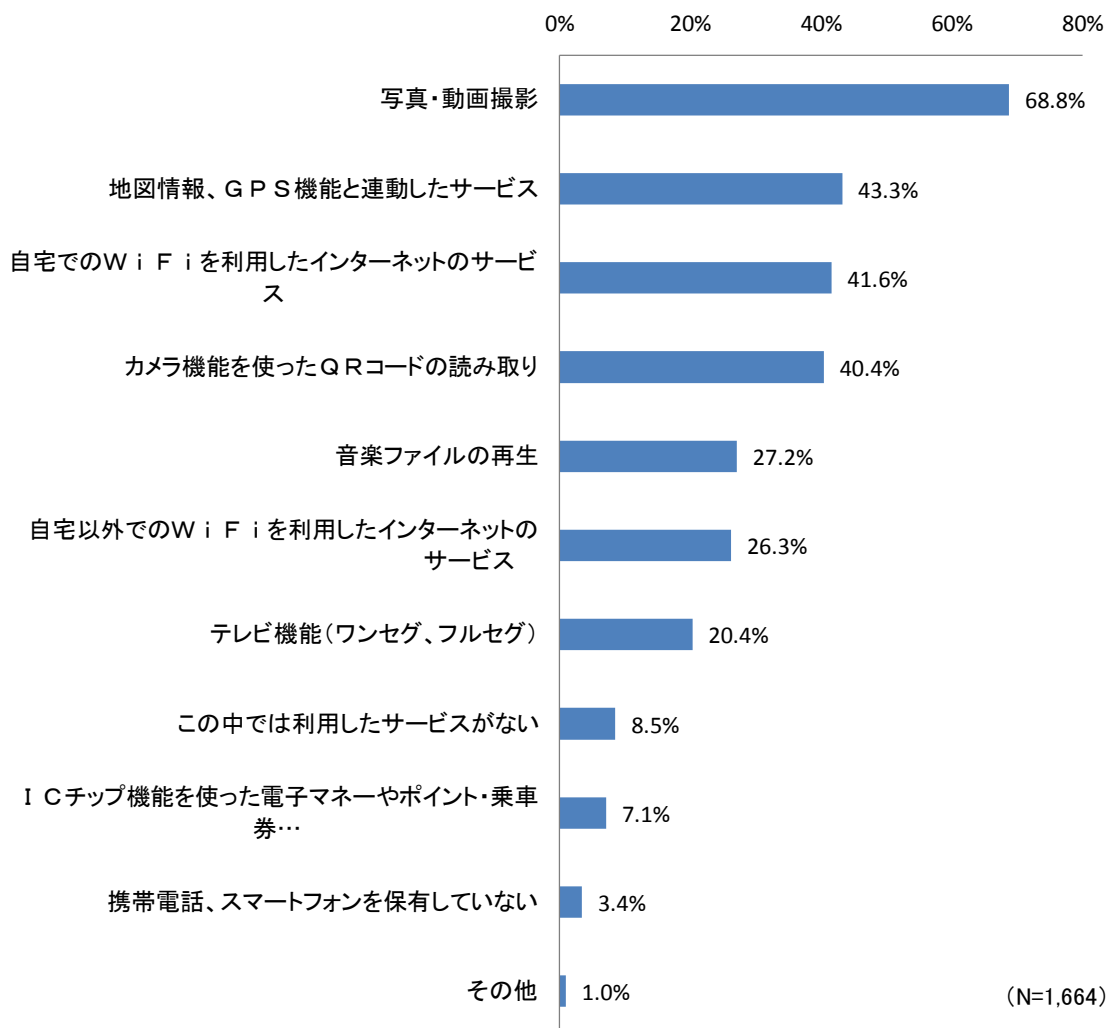
(7) 携帯電話（PHSを含む）又はスマートフォンで利用した機能・サービス

問7. すべての方におたずねします。

あなたは、過去1年間に携帯電話（PHSを含む）又はスマートフォンでどのような機能・サービスを利用しましたか。次の中から当てはまる番号すべてに○印をつけてください。  
〈複数回答〉

利用した機能・サービスについては、「写真・動画撮影」が68.8%と最も多く、次いで「地図情報、GPS機能と連動したサービス」が43.3%、「自宅でのWiFiを利用したインターネットのサービス」が41.6%、「カメラ機能を使ったQRコードの読み取り」が40.4%となっている。また、携帯電話又はスマートフォンを利用している割合は、95%以上である。（図表 3-15 参照）

図表 3-15 携帯電話（PHSを含む）又はスマートフォンで利用した機能・サービス

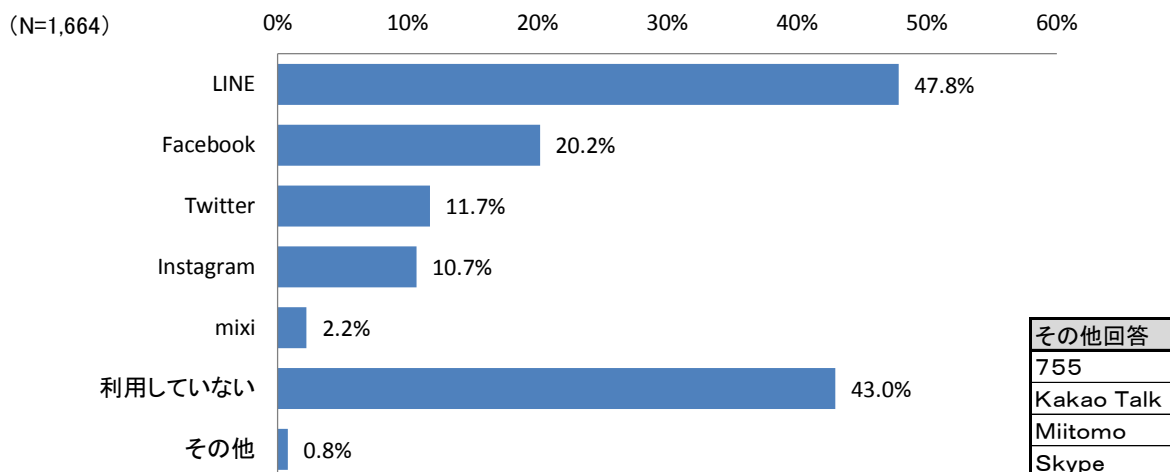


## (8) 利用したSNS

問8 (1). あなたは、過去1年間にSNS（ソーシャルネットワーキングサービス）を利用しましたか。次の中から当てはまる番号すべてに○印をつけてください。〈複数回答〉

利用したSNSについては、「LINE」が47.8%と最も多く、次いで「Facebook」が20.2%となっている。また、「利用していない」は43.0%となっている。（図表3-16参照）

図表3-16 利用したSNS

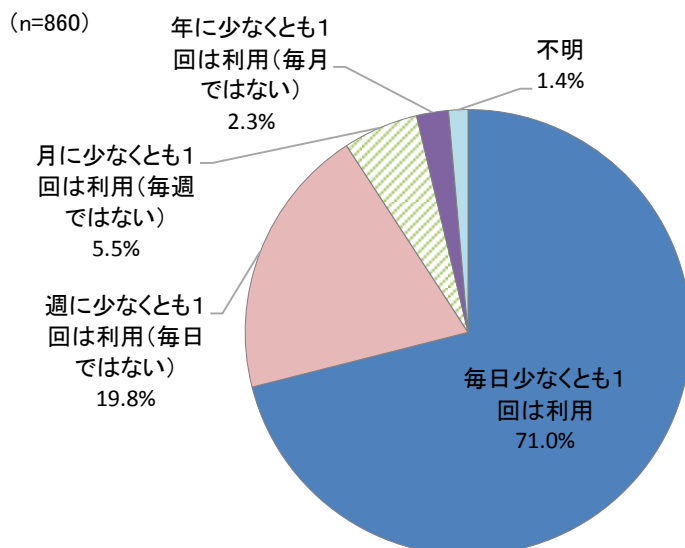


## (9) SNSを利用する頻度

問8 (2). あなたがSNSを利用する頻度はどのくらいですか。次の中から当てはまる番号1つに○印をつけてください。〈単一回答〉

SNSを利用する頻度については、「毎日少なくとも1回は利用」が71.0%と最も多く、次いで「週に少なくとも1回は利用（毎日ではない）」が19.8%、「月に少なくとも1回は利用（毎週ではない）」が5.5%となっている。（図表3-17参照）

図表3-17 SNSを利用する頻度



#### 4. 鹿児島市が発信する行政情報

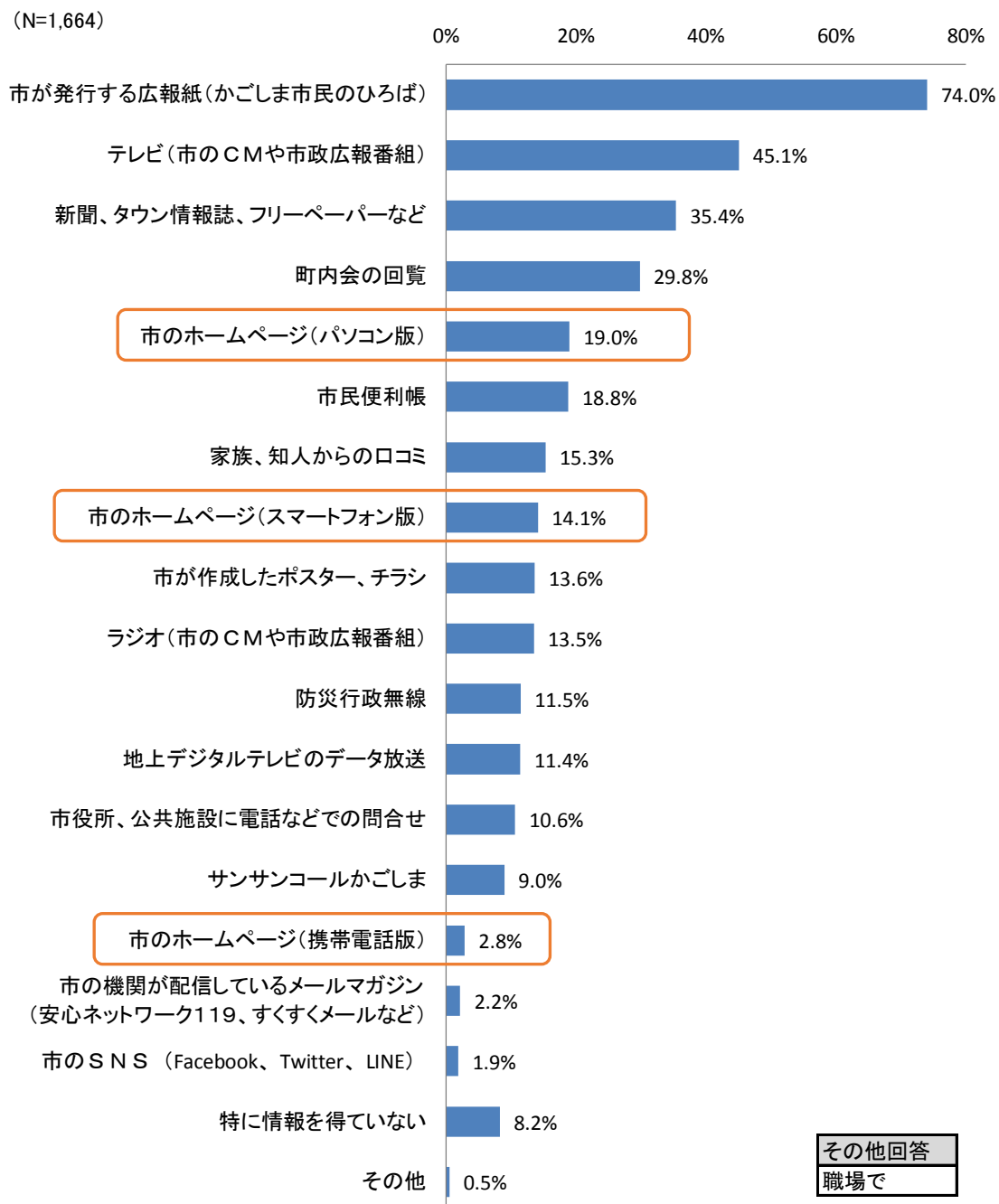
##### (1) 行政情報の入手方法

問9. あなたは、鹿児島市からの行政情報を、過去1年間にどのような方法で入手しましたか。次の中から当てはまる番号すべてに○印をつけてください。〈複数回答〉

鹿児島市からの行政情報の入手方法については、「市が発行する広報紙（かごしま市民のひろば）」が74.0%と最も多く、次いで「テレビ（市のCMや市政広報番組）」が45.1%、「新聞、タウン情報誌、フリーペーパーなど」が35.4%となっている。

なお、「市のホームページ」の利用者については、パソコン版、スマートフォン版、携帯電話版をあわせて35.9%となっている。（図表4-1参照）

図表 4-1 行政情報の入手方法



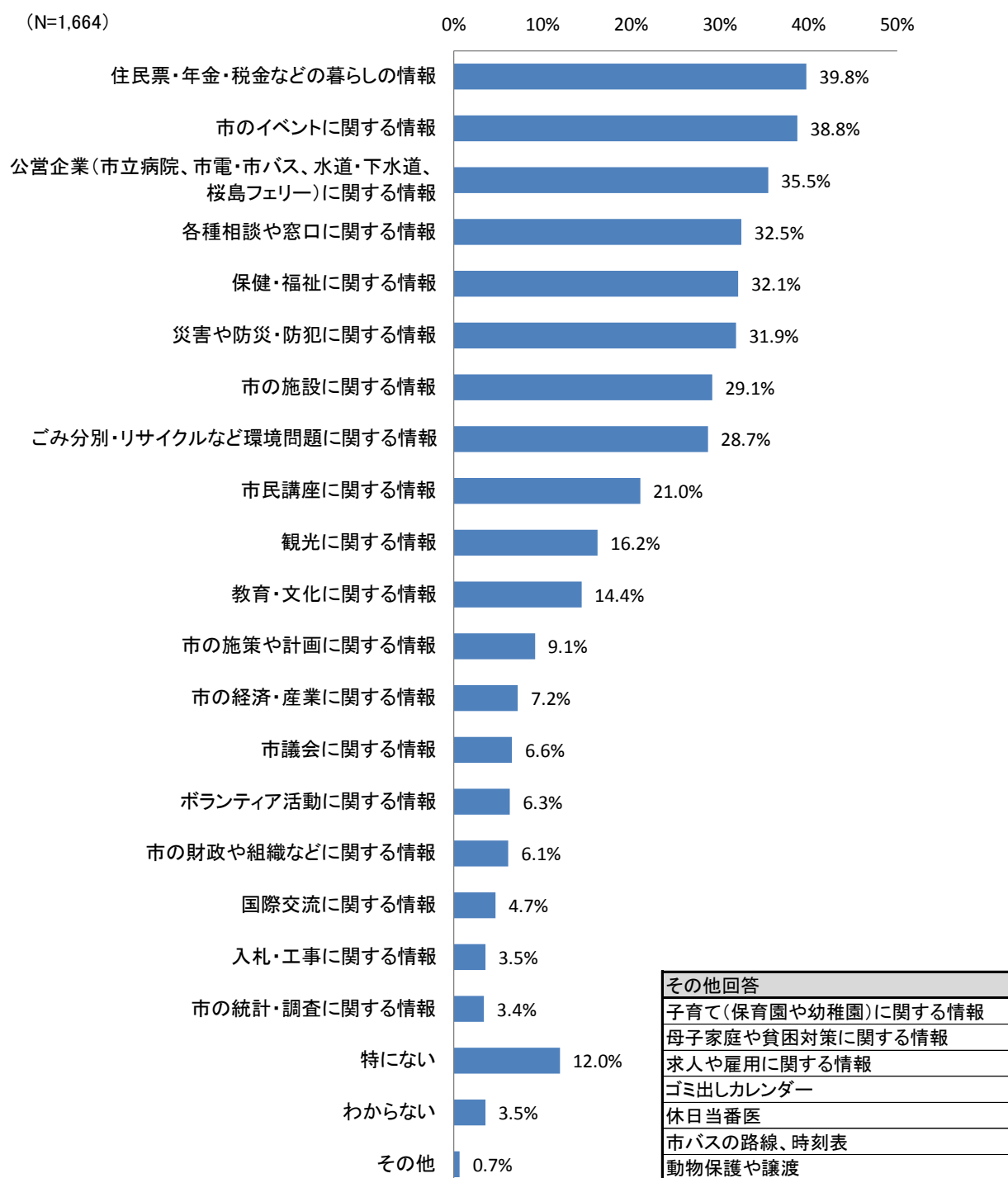


(2) 必要または関心のある行政情報

問 10. あなたが現在必要としている、または関心のある鹿児島市の情報は、どのような情報ですか。次の中から当てはまる番号すべてに○印をつけてください。〈複数回答〉

必要としている、または関心のある市の情報については、「住民票・年金・税金などの暮らしの情報」が 39.8%と最も多く、次いで「市のイベントに関する情報」が 38.8%、「公営企業（市立病院、市電・市バス、水道・下水道、桜島フェリー）に関する情報」が 35.5%となっている。（図表 4-2 参照）

図表 4-2 必要または関心のある行政情報



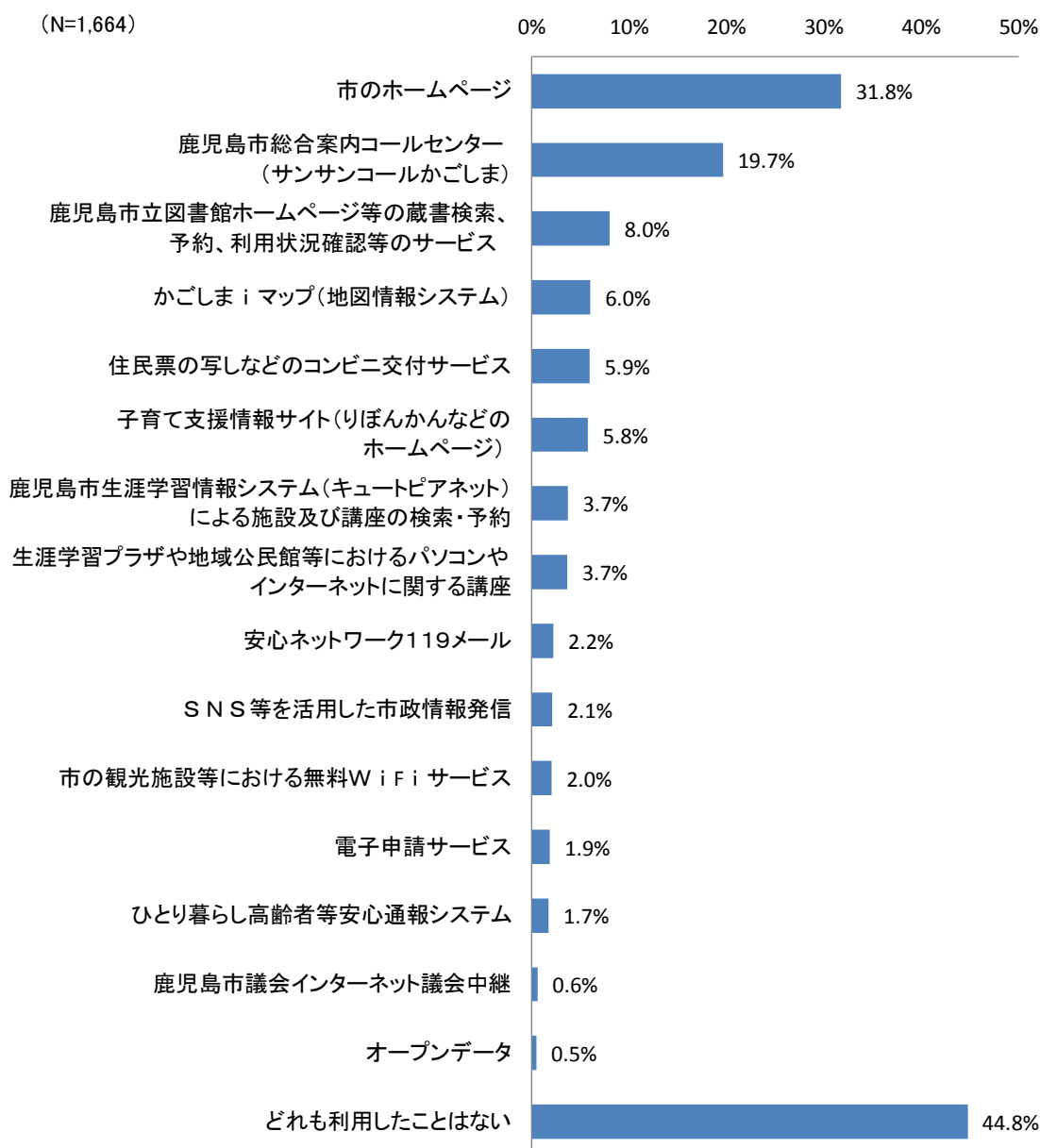
## 5. 鹿児島市が行う情報化への取組

### (1) 情報化施策の利用状況

問 11. あなたは、これまでに鹿児島市が提供・実施している情報化施策を利用したことがありますか。次の中から当てはまる番号すべてに○印をつけてください。 <複数回答>

情報化施策の利用状況については、「市のホームページ」が31.8%と最も多く、次いで「鹿児島市総合案内コールセンター（サンサンコールかごしま）」が19.7%となっている。また、「どれも利用したことはない」は44.8%となっている。（図表5-1 参照）

図表 5-1 情報化施策の利用状況



(2) 情報化施策で効果を実感した状況

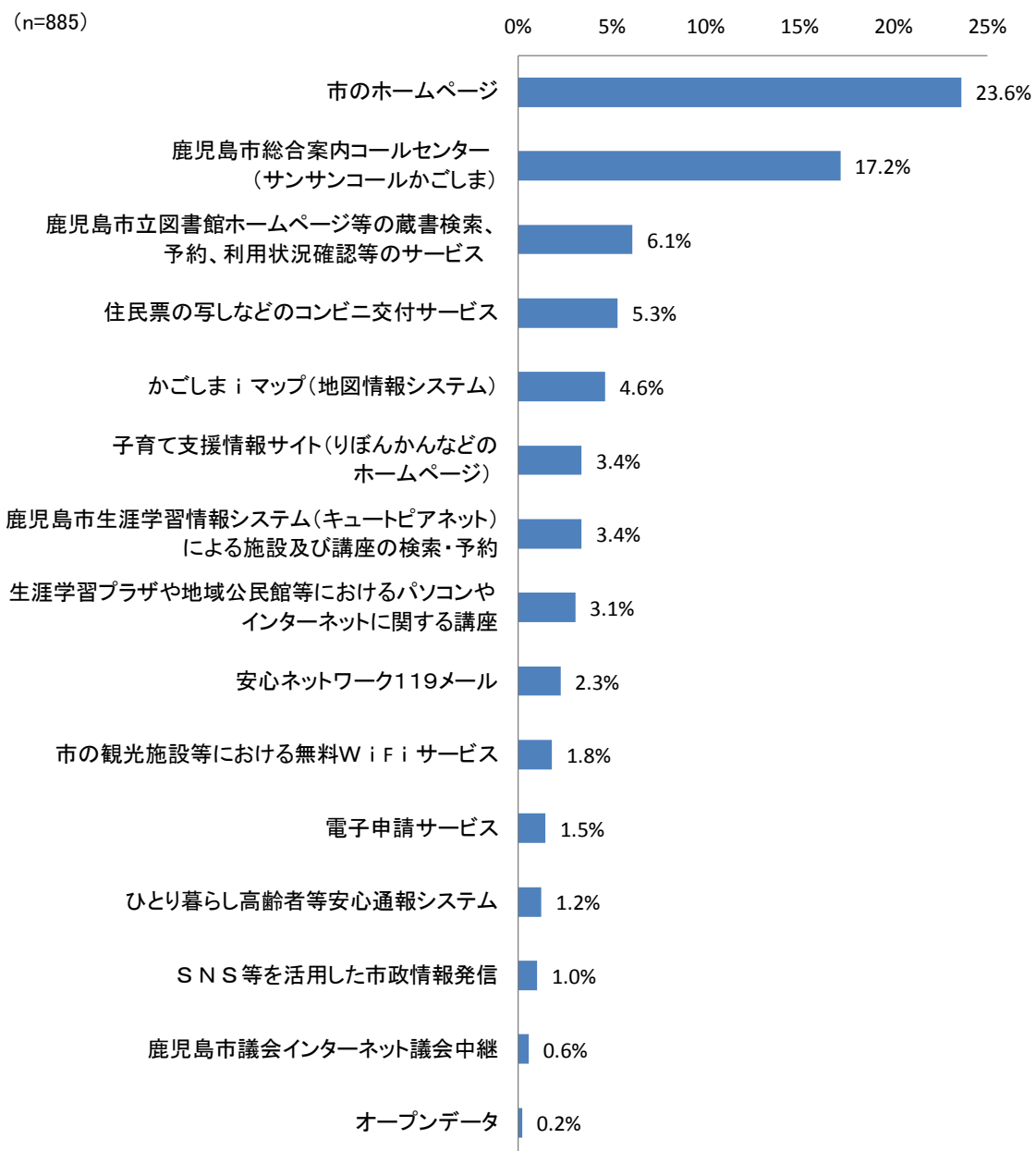
問 12. 問 11 で「16. どれも利用したことはない」以外を選んだ方におたずねします

あなたが利用したことがある、現在、鹿児島市が提供・実施している情報化施策のうち効果が実感できたものがありますか。次の中から当てはまる番号すべてに○印をつけてください。〈複数回答〉

情報化施策で効果が実感できたものについては、「市のホームページ」が 23.6%と最も多く、次いで「鹿児島市総合案内コールセンター（サンサンコールかごしま）」が 17.2%となっている。（図表 5-2 参照）

利用状況の高い情報化施策について（P27 図表 5-1 参照）、効果が実感できた割合も高い結果となっている。

図表 5-2 情報化施策で効果を実感した状況

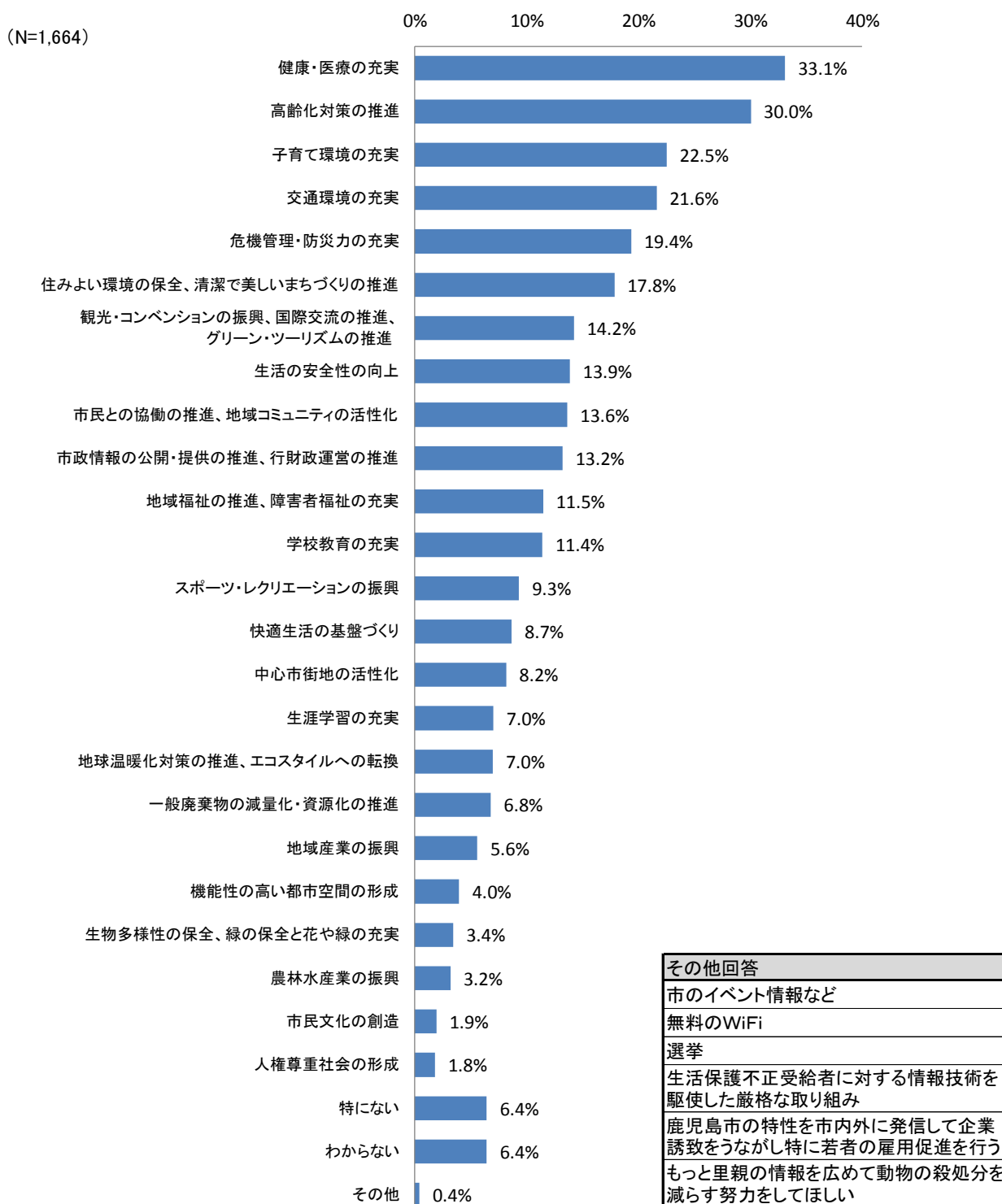


### (3) 情報化による市民サービスの利用意向

問 13. 鹿児島市では情報化による市民サービスの向上や地域の活性化を目指しています。あなたは、どのような施策に情報通信技術を活用すべきだと思いますか。次の中から当てはまる番号3つに○印をつけてください。〈3つまで回答〉

情報通信技術を活用すべき施策については、「健康・医療の充実」が33.1%と最も多く、次いで「高齢化対策の推進」が30.0%、「子育て環境の充実」が22.5%、「交通環境の充実」が21.6%となっている。(図表 5-3 参照)

図表 5-3 情報化による市民サービスの利用意向



年齢階層別にみると、10代では「交通環境の充実」、20代・30代では「子育て環境の充実」、40代・50代では「健康・医療の充実」、60代・70代では「高齢化対策の推進」が最も多くなっている。（図表 5-4 参照）

図表 5-4 年齢階層別の情報化による市民サービスの利用意向

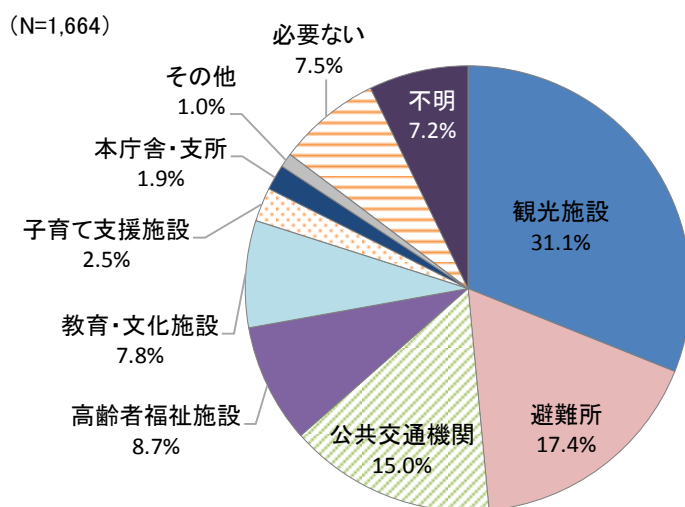
	1 位		2 位	
10 代	交通環境の充実	37.5%	子育て環境の充実	27.1%
20 代	子育て環境の充実	40.7%	健康・医療の充実	28.0%
30 代		54.4%		30.2%
40 代	健康・医療の充実	35.4%	子育て環境の充実	31.4%
50 代		40.3%	高齢化対策の推進	31.7%
60 代	高齢化対策の推進	36.5%	健康・医療の充実	30.8%
70 代		53.5%		34.6%

#### (4) 公共施設での無料W i F i サービス

問 14. 鹿児島市では現在、観光施設等において無料W i F i サービスを実施しています。あなたは、今後鹿児島市のどの公共施設等で無料W i F i サービスを実施するべきだと思いますか。次の中から当てはまる番号1つに○印をつけてください。〈単一回答〉

無料W i F i サービスを実施するべき施設については、「観光施設」が31.1%と最も多く、次いで「避難所」が17.4%、「公共交通機関」が15.0%となっている。(図表 5-5 参照)

図表 5-5 今後実施するべき無料W i F i サービス施設



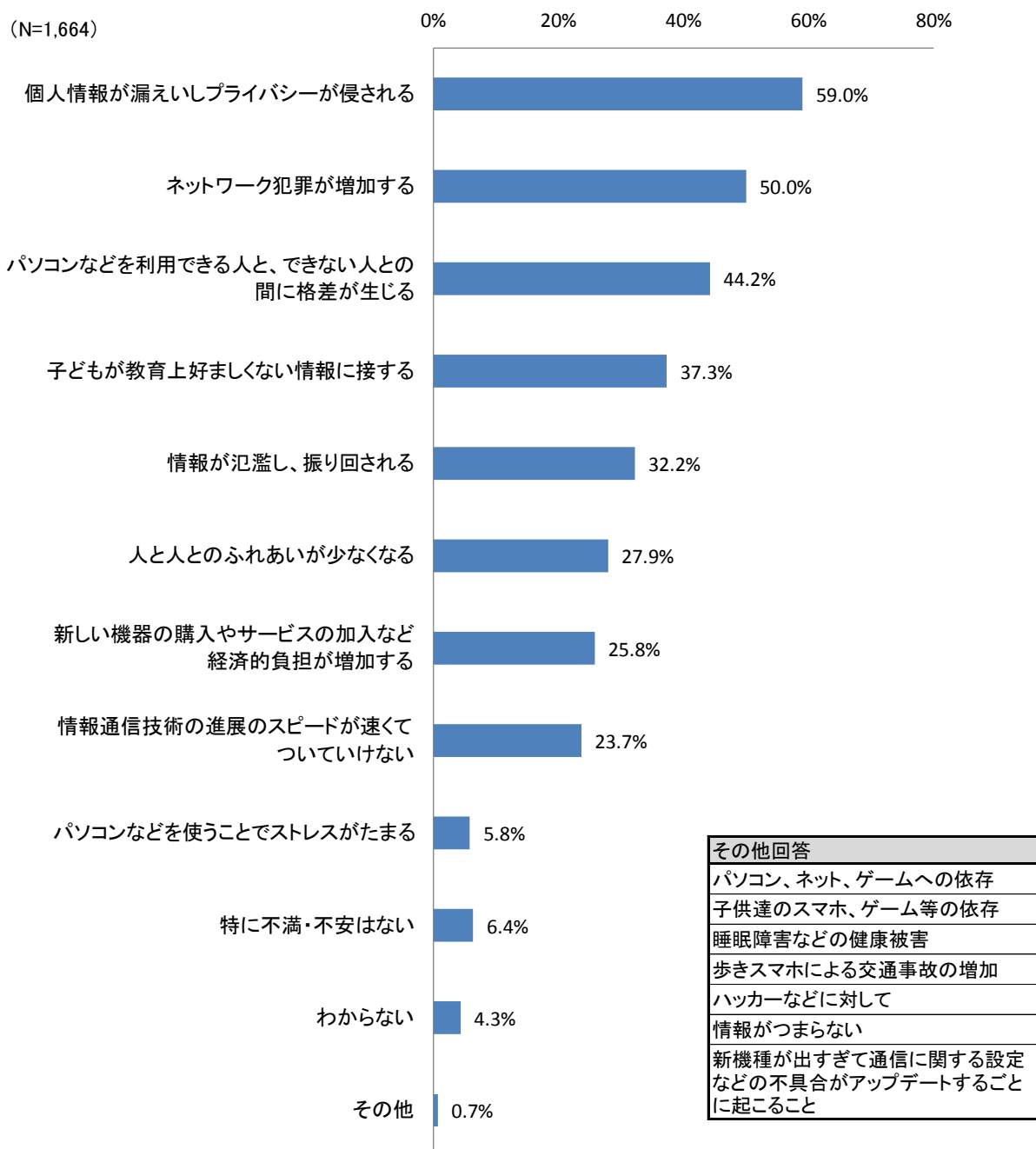
その他回答
すべての施設
地区公民館
使っていない、WiFiがよくわからない

(5) 情報化に対する不満や不安

問 15. あなたは、情報化が進むことに対して、どのような不満や不安を感じるがありますか。次の中から当てはまる番号すべてに○印をつけてください。〈複数回答〉

情報化に対する不満や不安については、「個人情報漏えいしプライバシーが侵される」が59.0%と最も多く、次いで「ネットワーク犯罪が増加する」が50.0%、「パソコンなどを利用できる人と、できない人との間に格差が生じる」が44.2%となっている。(図表 5-6 参照)

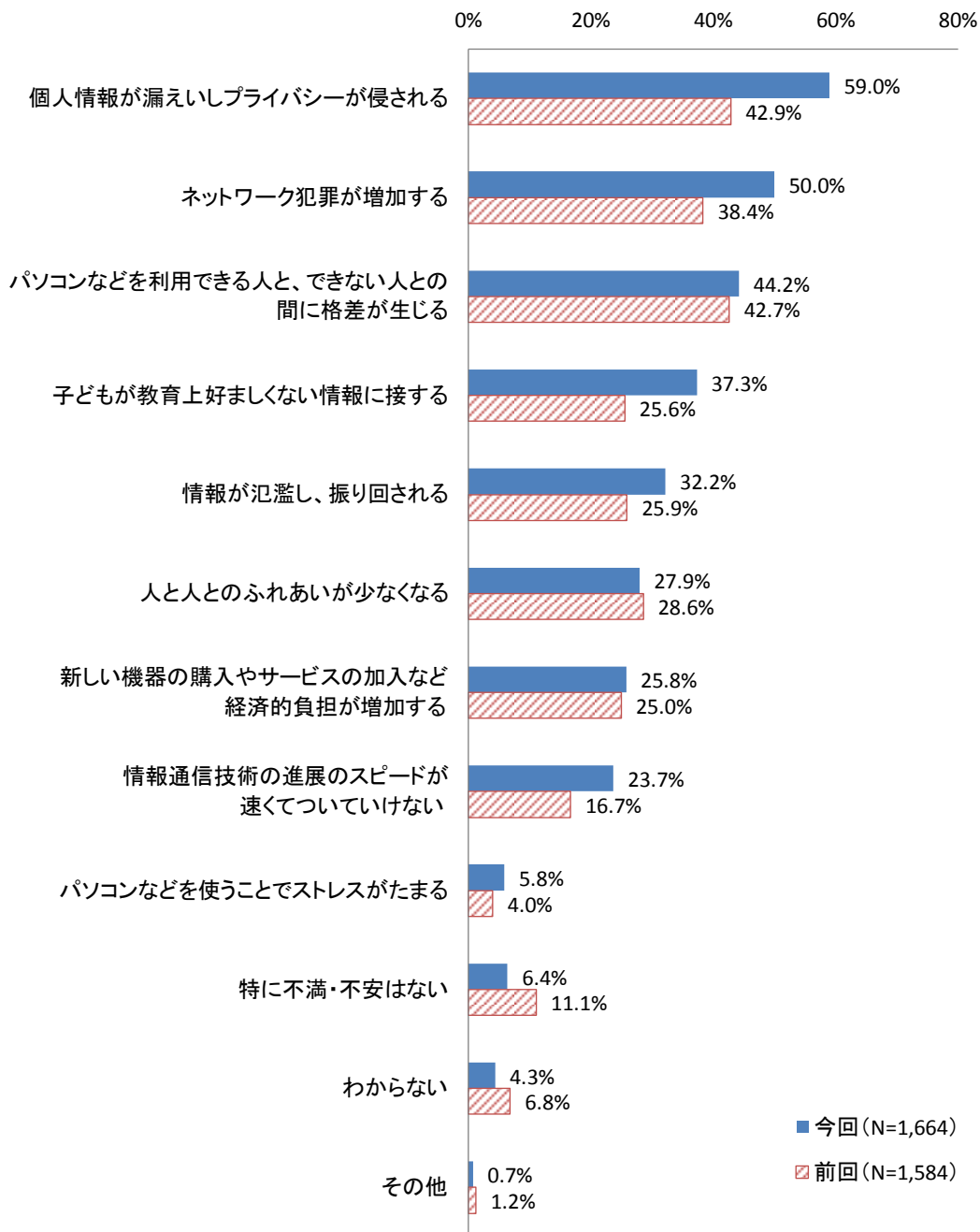
図表 5-6 情報化に対する不満や不安



前回と比較すると、不満や不安を感じることで上位の「個人情報漏えいしプライバシーが侵される」「ネットワーク犯罪が増加する」や「子どもが教育上好ましくない情報に接する」において10ポイント以上増加しており、情報セキュリティに対する不安が増加している傾向が見られる。(図表5-7参照)

年齢階層別にみると、10代～60代では「個人情報漏えいしプライバシーが侵される」、70代では「パソコンなどを利用できる人と、できない人との間に格差が生じる」が最も多くなっている。(図表5-8参照)

図表5-7 情報化に対する不満や不安の比較





図表 5-8 年齢階層別の情報化に対する不満や不安

	1 位		2 位	
10 代	個人情報が増えいしプライバシーが侵される	68.8%	ネットワーク犯罪が増加する	60.4%
20 代		71.2%		55.1%
30 代		70.7%		59.5%
40 代		62.4%		56.2%
50 代		64.7%		53.1%
60 代		55.5%	パソコンなどを利用できる人と、できない人との間に格差が生じる	50.1%
70 代		44.6%	個人情報が増えいしプライバシーが侵される	38.7%

## (6) 情報化施策についての自由意見

問 16. 鹿児島市の情報化施策についてご意見・ご要望がありましたらご自由にお書きください。

自由意見に寄せられた内容を図表 6-1 のように分類した。パソコン等の情報通信機器を利用できない等の「情報弱者への配慮」に関する意見が最も多く、次いで、「情報通信技術を活用した市民サービスの充実」に関する意見も多く寄せられた。

図表 6-1 自由意見の分類

回答分類	回答数
情報弱者への配慮	47 件
情報通信技術を活用した市民サービスの充実	42 件
インターネットによる情報発信の充実	32 件
情報化に対する不安・不満	34 件
セキュリティ対策の充実	8 件
その他	60 件
合計	223 件

### Ⅲ. 参考資料 自由意見

#### 【情報弱者への配慮】

問15の1の格差についてもっと真剣に取り組むべきだと思う。同様にサービスを受ける人受けられない人がいるのはおかしい。それでいて配信したものを確認していないのが悪いと言われればこちらは何も言えない。データを複雑化して落とし穴を作っているように感じる方がいるのもうなずける。真摯に受け止めていただきたい。	女性	20 歳代
過疎化地域での光回線など通信環境の整備を事業者働きかけてほしい。事業者が収益性の高い地域から整備していく経済的な問題は分かるが取り残された土地は格差が開いていく一方です。	男性	30 歳代
IT化を進めるのであれば格差解消が不可欠であると思います。端末機を持つ人持たない人や、ネット環境がある人そうでない人との間に行政サービスの差や情報の差が出ては本末転倒であるように思います。	女性	30 歳代
何でも便利になっていますが高齢者の方にもわかりやすいシステムにしてもらいたい。できる人とできない人の差ができて取り残されたような気持ちになります。私は40歳になると高齢者よりの説明にならないと理解が難しいと日々感じています。	女性	30 歳代
情報をパソコン等出来る人、出来ない人で平等に配信しなければならない。	男性	40 歳代
情報化施策が一部の人のためだけの施策であるのであればもう少し考えた方がいいと思います。	男性	40 歳代
情報化施策には大いに賛成ですが、情報弱者への配慮も合わせて行っていただきたい。	男性	40 歳代
インターネットを利用して情報を発信する事は若い世代が市政に関わりやすくなり良いと思う。しかし、インターネットを利用しない高齢者向けには、紙面(広報誌)等での行政情報も続けて欲しい。	女性	40 歳代
高齢になるとなかなか個人での情報が難しく、また自宅に経済的にパソコンを取り入れることが厳しいのがあります。安心してネットなどに触れることが自由にできるよう町内の公民館などでみんなが無料で利用可能なパソコンなどがあると便利になるのかなと思います。	女性	40 歳代
政治は不公平がないように、ネットではなく紙媒体で分かりやすくすることを目指してほしい。	女性	40 歳代
小中高生が学校に携帯を持って行き、ゲームをしたりラインで人の悪口を書き込みいじめに発展する。国や市の方で学生に対しては厳しく指導すべき。絶対に教育上良くないので。学生は携帯を持ちこまない制度を作してほしい。持っていない人と持っている人と差別がある。仲間外れなどもある。鹿児島は貧しく他県からすると貧困家庭が多く父親の賃金が安すぎて生活できない家庭が多いので貧しい家の子はいじめられている。	女性	40 歳代
情報化は将来必要不可欠になるだろうが、今の時点ではキャッシュコーナーで現金を引き出すことすらできない高齢者が多いことから、ネットで申し込みができるようになった等の理由で人によるサービス提供を省略するのはいかなものかと思う。	男性	50 歳代

老人の方々にタブレットを配り、公民館などで講習会など開き孤立する老人を少しでも減らす。話すことにより体力、知力の維持も計れる。その集まりに子供など近所の人々も参加出来れば尚よい。	男性	50 歳代
高齢化が進む中、誰でも利用しやすいものにして欲しい。	女性	50 歳代
すべての市民が平等に使えるように多くの場所に情報機器を設置する。またそれを使いやすいように操作を簡単にする。	女性	50 歳代
パソコンを利用できない高齢者の方にどう大事な情報を伝えられるか。目や耳、足が衰えていく年代への情報がまんべんなく行き届くようにと心配しています。	女性	50 歳代
アナログの世界で生きてきた私にとって情報通信機器はほとんど利用しないためどんどん世の中から取り残されているような気がしています。	女性	50 歳代
情報化の環境にない人が取り残されることがないように努めてほしい。何でもホームページに出ていますではなくて伝える努力を忘れないでください。ホームページに出すことそれを見て理解することは同じではないことも忘れないでください。お願いします。	女性	50 歳代
一括で考えず年代別での対応策を考えてほしい。	女性	50 歳代
義務化しないでほしい。できない人の情報入手方法も同時に検討してほしい。	女性	50 歳代
家にパソコンがありますが私は使えません。最近 아이폰 にしましたが使いこなせていません。そのつど知り合いに聞いて少しずつ覚えているところです。色々と使い方を教えてくれるところがあればいいなと思います。お金を払って教えてくれる講座があるのは知っていますが年金生活だとなかなかいきません。身近に簡単に教えてくれる人がいたら使いこなせるようになるのかなと思ったりします。	女性	50 歳代
高齢になればパソコンを取り扱う作業も困難になると思う。	女性	60 歳代
老人や所得の少ない人はパソコンの利用が難しいので、なるべく平等な施策をお願いしたい。	男性	60 歳代
高齢者にはパソコン、スマートフォン等の電子機器は難しい。子供に教えてもらっても分からないです。	男性	60 歳代
鹿児島市主催の無料パソコン教室が希望。案内情報が欲しい。	男性	60 歳代
高齢者が情報化に対応するためには市当局の手立てが必要だと思う。タブレットの取り扱い方、活用法を地域公民館や福祉館に常時備え付け、熟達した職員を配置する等の施策を進める。	男性	60 歳代
今後、ネットでの情報提供が増えていくなら、情報が確実に必要な人へ入るようにしてほしい！知らずに期限切れで、自己責任になるのはとても、残念…。税金も納めているのだから、行政側の情報を伝える責任もあると思う。	男性	60 歳代
パソコンが使えないので情報が入手できない。高齢者は意欲はあるので、パソコン教室を無料で行ってもらいたい。	女性	60 歳代
高度な情報社会に振り回される必要はない。しかし、例をあげると市バスの時刻表など、身近な情報を得る手段(スマホ)は、情報機器が苦手な人でも研修を受けるとすぐに体得できる。日常生活に役立つ情報の収集を、ぜひ参加しやすい講座を数回繰り返し返してほしい。	女性	60 歳代

時代の流れで仕方ないですが高齢者は付いていきません。まわりに若い人がいないと何も解決できません。トラブルになった時助けてくれる人がいると助かります。	女性	60 歳代
パソコンやインターネットができる人ばかりではないので市民のひろばなど分かりやすく見やすい紙面にしてほしいです。	女性	60 歳代
年齢が進んでも情報の多様化や選択についていけるが、公民館講座などパソコン教室以外に施策について説明の機会があってもよいと思う。若者が身近にいないと情報に疎くなる。	女性	60 歳代
市の情報もたくさん公開され分かりやすくなっていると思っています。ただ機能がたくさんついていても多ければ多いほど目的に行きつかずメカに弱い世代にはもどかしさもあるのでは。われわれの世代ではパソコンやスマートフォンどちらもしていない人もいます。その分市政など行政関連も知らない人もおり新聞やテレビでの情報になっているのではと思う。世代ごとに必要な情報また絶対届けたい情報があるのではないかと思うが分かりやすい情報提供の方法があればと思う。	女性	60 歳代
SNS、WiFiなどを、今後知る機会が欲しい。	男性	70 歳代
パソコンを使わない人でもテレビはほとんどの人が使っています。これからの高齢者の方も鹿児島からの報道はテレビで一番見ると思います。	男性	70 歳代
少子化社会となり高齢者は情報化社会から置き去りにされ、ますます孤独を感じ、活力がなくなってしまうので情報の在り方を考慮してください。お願いします。	男性	70 歳代
市内情報伝達方法として時代とともに電子機器を利用することが増えてくると思います。私のような高齢者は市民のひろばのような紙による伝達が一番助かります。	男性	70 歳代
ネット利用ができない市民への対応を進めてください。費用対効果予測を毎年実施する。	男性	70 歳代
これからは、ますます情報化が様々な機器を通して進んでいくと思われれます。私はそれから取り残されたアナログな世帯です。必要と思えばスマートフォンに切り替えて、必要な情報を得たいと思いますが、高齢になるとテレビと新聞で間に合っています。情報があふれるのも自分をしっかり持っていないと、ふりまわされる感もあります。	女性	70 歳代
高齢者はインターネットを使いこなせない人が多いのでは。	女性	70 歳代
ひとり暮らしの老人宅でパソコン等を使っていなければ、世の中の情報から取り残されていくのではないかと思う。情報の徹底化をどうすれば良いか課題がありそう。	女性	70 歳代
50から60歳のころは興味を持ち64歳でパソコン教室に通って300以上受講してみたが分からない時すぐに聞く人もおらずイライラして熱中するのも嫌になりインターネットもやめてしまった。スマートフォンも興味を持ったが年寄りには騙されやすいとやめてしまった。携帯も7～8年使って新機種にも変えたのに取り扱いがよくわからず自然と持ち歩かなくなった。	女性	70 歳代
情報化時代についていきません。パソコンが出来ないので不安を感じつつの生活ですが市は色々情報を提供してくださっていると思います。	女性	70 歳代
何もかも情報化され私たち高齢者はついていきません。	女性	70 歳代
高齢者はネットやパソコンが使いこなせない。公的機関の情報機器の利用は親切丁寧に誘導すれば何とかできるのでは。	女性	70 歳代

73歳ですが私どもの時代はパソコンやインターネットは何もなくすべて直筆で書くのみの時代でした。ですからいまだに年賀状やはがきも手書きで楽しんでいます。手紙やはがきも良く書きますが読み返したりしながら楽しいひとときです。しかし現代はすべてインターネットの時代で間15のようにできない私たちとの差が生じ不自由極まりないです。世の中すべてネットで見るようにとかインターネットで申し込むようにということばかりで不満です。人にとっては損をしておるように思います。良く旅行もしていますがその例として大いに利用させてもらっていたJRのアクティブ65という九州旅行の申し込みはこの6月で廃止になり7月からネットで申し込みのみのものになり不自由不満の連続でした。私たちのように高齢者でパソコンネットなどが使用できない人はたくさんいると思います。どのように対処すればいいのでしょうか。いまさらパソコンを覚えようとは思いません。五感を刺激しながら運動に旅行に興味にと忙しい毎日です。体力と気力が衰えていきますが情報化社会に生きる私たちにも時代の遅れをとられないよう何か手立てを残していただきたいと思います。	女性	70 歳代
高齢者向けの講座等を開いてほしい。機器の扱い、出張講座があれば。	男性	70 歳代

### 【情報通信技術を活用した市民サービスの充実】

現在鹿児島市内において無料WiFiサービスが広がっているがさらに多くの場所にスポットを設置してほしい。	男性	10 歳代
吉田町に光回線を通してほしい。	男性	10 歳代
無料のWiFiが使える場所をもっと増やして欲しい。	男性	10 歳代
アミュプラザやイオンに無料WiFiサービスを実施して欲しい。	男性	20 歳代
公共の場でのWiFiをもっと分かりやすく増やして欲しいです。あるのかないのかよく分からないですし、あってもパスワードが分かりにくいところにあたり、つながらなかったりします。外国では町のWiFiが多いと聞いたことがあります。観光客(国内・外ともに)を増やすなら、今の時代携帯で調べながら街を歩くといいと思います。そういうハード面を充実させるのも市民、観光客等の満足度を高められるのではないのでしょうか。	女性	20 歳代
HPIに難病の指定医、休日開いている病院を掲載して欲しい。無料WiFiは通勤、通学途中でよく使うため交通機関で使えたら良い。市全体WiFiにすると授業や運転中の携帯使用に繋がるため範囲は考えて欲しい。	女性	20 歳代
台北のように無料WiFiスポットを増やして観光客を増やしてほしい。	女性	20 歳代
観光地なので海外からの方たちが沢山いらっしゃる中でまだまだWiFiが使える場所を増やすべきだと思います。そしたらもっと活性化したいと思います。	女性	20 歳代
発信されている情報が多すぎて見にくい。SNSで小出しにしてもらえたら目にする機会が増えそう。	男性	30 歳代
WiFiを町の中心地で広く使えるようにして欲しい。海外観光客も増えているので。通信料が高い。	女性	30 歳代

市電や市バスにデジタルサイネージを導入し行政情報を流してはどうか。学校はある程度情報化しITリテラシーを学ぶことも必要だと思う。無料WiFiを導入する際は接続時15S~30Sの市政情報を流すと効果的にPRできると思う。窓口で受け取る所得証明印鑑証明などは電子署名で取れないでしょうか。	男性	30歳代
図書館などの長時間滞在する施設で無料WiFi。	女性	30歳代
鹿児島市民のひろばのイベント情報や講座の情報をとても楽しみにしています。それだけでなく役所での手続きが必要なことなどは書かれているので助かっています。今まで市のSNSがあることを知りませんでした。その情報をもっと早く知っていたら便利だったのではないかと思います。	女性	30歳代
住んでいる人たちは何も不便を感じていないかもしれないが、今はみんなスマートフォンを持ち歩いている時代なので、観光客の為にもフリーのWiFiを街をあげて進めてほしい。私は旅行によく行くので、フリーのWiFiがあるとポイントも上がる。もし自分が県外に住んでいたら、鹿児島にドライブや旅行に行きたいと思うような場所はたくさんあるが、実際のところ売り込みが下手というか古いというか、もっとお金をかけて宣伝してほしい。商店街や小さい団体ではなく、行政でもっと誇れる鹿児島にしてください。お願いします。	女性	30歳代
他県と比べて非常に遅れており、非常用災害避難者向けのWiFiスポットなどの整備がない。行政として民間で設置した場合に補助金や、直接設置するなどの動きがないと86災害の時のように情報の混乱と遅延で人命が失われる。機器購入・設置で補助金を出す等の施策があってもよいではないでしょうか？	男性	30歳代
行政関係(住民票等)がネットワークにて簡単に手に入るとよいと思う。	男性	40歳代
鹿児島の経済が合点するような施策に期待。鹿児島市の情報を県外に発信して観光や企業誘致ベンチャー企業の優遇。企業の情報化推進のための法人税等の減税や補助や交付金。同業種や関係業種の情報連携ができるような取り組み。市民の意見が分かるように把握できる仕組みづくり。	男性	40歳代
WiFi環境のさらなる充実を期待しています。	男性	40歳代
今の時代経済的に余裕がなくても子供がスマホを持つことが当たり前になりつつあると思う。家庭の通信費の割合が高すぎると思う。外でWiFiの環境が整うことでタブレットでも外で情報を手に入れることができるのでぜひ整備してほしい。	女性	40歳代
今年熊本と宮崎に旅行に行ってきました。他県は各名所にボランティアの方がたくさんいて少しでも困ったらすぐ教えていただきとても気持ちよく旅行もでき他県の人々の人柄も感じまた行きたいと思いました。鹿児島県はすべて自分で調べ悩み考えの旅となり出身県の私でも悩み考え自分で行くため他県の方はもう一度来たいとは思いませんでした。自然や歴史食べ物すべてで勝っていると思っている鹿児島県です。アピール方法や旅行者の気持ちになって温かい御迎えができるように工夫してほしいです。	女性	40歳代
仕事などで時間的にまた体が不自由で窓口に向くことが困難。知りたい情報や知らなかったことがすぐ得られることで町の活性化につながったり、多様な面で利用性とサービスの向上が求められているので情報化を推進して行ってほしいと思います。	女性	40歳代

防災行政無線について。風向、天候に依って全く聴こえない。部分的にも理解不能。通り一編の試験放送では意味が無い。「かんたんケータイの様な受信機」を高齢者世帯に配布する。(無償)	男性	50 歳代
現在も観光施設での無料WiFiサービスが実施されているとのことですが、建物だけではなく銅像前や看板前などでWiFiが受信でき、説明、案内等ができれば県外からの観光客によいサービスとなるのではないのでしょうか。	男性	50 歳代
防災情報無線は雨風が強いとまったく聞き取れない。将来耳が遠くなるかと思えば個別にメールで届けてもらいたい。	男性	50 歳代
行財政の情報やサービスが身近でどのような利用可能なものがあるのか周知してもらうこと。	男性	50 歳代
バス路線が分かりにくいので分かりやすくしてほしい。	男性	50 歳代
観光案内の充実及びボランティア。昔から鹿児島は営業が下手だと思う。	男性	50 歳代
WiFiスポットが増えればいいです。	男性	50 歳代
観光地にフリーWiFiが少なすぎる。また、充電(携帯やスマートフォン)のできる場所をもっと設置してほしい。電話BOXみたいに。観光客は困っていると思います。	女性	50 歳代
必要な情報(特に災害に関するもの)を、正確に早く届けて欲しい。	女性	50 歳代
外国人が観光で来た時、各国の言語で分かるような情報化が多くあればいいと思う。	女性	50 歳代
市役所や各支所内のWiFiがあれば待機中にスマホを使用したいので情報処理してほしいです。	女性	50 歳代
どのような情報が情報化されているのか良く分からない。(周知する必要があるのでは、端末等で情報の検索するカテゴリが分からない。)情報化してもペーパーレスには絶対ならない。二本立てするとより経費がかさむのではないか。WiFi等の広域化が望まれる。一人暮らしの年寄りの安否確認等をネットワークで行えればいいと思う。その為にはWiFiがより効果的である。一人暮らしの高齢者の確認が遠隔地で身内が無料で実施できる情報化推進が必要です。	男性	60 歳代
すべての情報が時間を問わず利用できる。	男性	60 歳代
フリーWiFiが一番うれしいです。ツーリストだけではなく地元住民も大助かりです。どんどん広げてください。	男性	60 歳代
市民便りが一新され紙面が充実してきました。町内会に入会していない人の広報が乏しい。(独り暮らしや高齢者安心システムなど)	女性	60 歳代
市の公共機関にはWiFiを設置していただきたいです。	女性	60 歳代
最近は何でもパソコンやスマートフォンからの情報が見られますが、両方がないものは書面で届けてほしい。	女性	60 歳代
情報化社会では色々メディアを通して目にしているところではありますが今後のことを考えるともっと発展していくものだと思います。そこで他自治体の動向も見ながら市も遅れることのないように先行的に実行していくことを望みます。	男性	60 歳代
SNS、ホームページ等のできるサービスは、どんどんやって欲しいです。	男性	70 歳代



市民が必要とする情報の提供は希望します。活字の場合、若い人は一度目を通すと理解出来ると思いますが、高齢者は活字が小さかったり、文章が複雑であると読みたくなりません。新しい機器での対応はなかなか難しいです。登録しておけば一方的に送信されるものは有難いです。	女性	70 歳代
防災行政無線がはっきり聞こえるように調整をお願いします。聞き取りにくく正しい情報が伝わりません。	不明	不明

### 【インターネットによる情報発信の充実】

あると予想しながら探さないと見えない政策が多すぎる。大変でしょうが、宜しくお願いします。	男性	10 歳代
大雨などの際の交通機関の運行情報をより早く分かるような情報提供をして欲しい。	女性	10 歳代
インスタグラムを使った観光名所の投稿。	男性	20 歳代
自分自身、結婚を控えており、出産・子育ての話も身近になりました。少子高齢化とは言うものの、子育て支援に関する情報は少し隠れすぎている気がします。私は、仕事は続けていきたいと思っているので、そういった人向けの情報を分かるように発信してもらえると嬉しいです。子育て世代は移り変わるもので、一生の中では一瞬で、長く声を上げる人がいないため、見落とされがちだと思います。えらそうに語ってしまいましたが、皆様のお仕事あつての私たちの生活だと思います。いつもありがとうございます。ご無理はなさいませんように。	女性	20 歳代
市のホームページの情報が最新のものなのか不安な時があります。	女性	20 歳代
公共施設等でのWiFi が無いのが不便なのと、鹿児島市のホームページが詳しく書かれていないので結局市役所に電話して聞かないといけないことが多く不便です。	女性	20 歳代
情報の入手方法がインターネットでもっと簡単にできればいいと思う。市のホームページは行政のものなので、きっちりさせる必要があるが、若年層の人は必要な情報を探しにくいと思う。市のアプリを作ったり、自分が興味をもっている情報が自然に入ってくるしくみ等。ホームページを2種類作ってみたり、大人向け子供向け等。これからは小学生、中学生とスマートフォンを持つ時代になってくると思うので、よろしくお願いします。	女性	20 歳代
情報の見せ方をシンプルに分かりやすくデザインしてほしい。難しい情報では理解できない。	男性	30 歳代
県外の方が多く在籍する私の職場では鹿児島市民になることにより受けられるさまざまなメリットを認識していないためもっと情報を発信していくべきだと思う。	女性	30 歳代
ホームページをよく利用しています。Q&Aのようなコーナーを作っていたら嬉しいです。	女性	30 歳代
SNSなどをされるのであればもう少しアピールした方がいいかも。あまり知られていない気がします。	女性	30 歳代

鹿児島は今後益々注目される可能性を多く秘めた土地だと思いますので郷土や県民の素晴らしいところを情報を通して県外・海外の方に知って頂ける事を願います。アンケート調査、ありがとうございました。	女性	30 歳代
市のホームページの情報が分かりにくい。遅い。もう少し分かりやすく、すぐに役立つページにたどりつけるようにしてほしい。また、関係各所のHP更新ももっと充実してほしい。	女性	40 歳代
姫路城のように歴史的建造物の場所で案内がすぐに得られたりスマホやタブレットで昔の景色が見られるような仕組み。医療関係や症状といった病院とのリンク(どんな時にどんな病院に行っていかわからない。)市電の国際化。最近甲突川沿いの公園を突っ切る人が増えた。そういうところの乗り入れはよくないという情報を出してほしい。	女性	40 歳代
鹿児島市のより多くのイベント情報について載せてほしい。	女性	40 歳代
市のホームページはびっしり文字で見づらい。探している情報になかなかたどりつけない。図書館の検索も改善を希望したい。	女性	40 歳代
ホームページからの情報提供の充実とインターネットからの申込みができるよう、利便性の向上をはかってほしい。	男性	50 歳代
世界的にも恵まれた観光資源があるのだから、もっと内外にアピールし、観光客等を積極的に呼び込み、市全体では、南九州を活性化すべき。現在、全く足りておらず残念に思っている。	男性	50 歳代
ホームページが使いづらい。トップページを使いやすいデザインにしてほしい。	男性	50 歳代
情報化は重要なことです。市民がわかりやすく情報を入手できるようにしてほしいです。	男性	50 歳代
現時点での施策が市民には伝わってこない。	男性	50 歳代
観光施設、案内板等のネットとリアル情報の連携による市外訪問者の誘客とリピート率の向上を期待します。	男性	50 歳代
交通局の路線、時刻調べで検索するが以前の方が使いやすかった。サンエールの空室状況を調べる際も最後までスクロールしなければ開かないのは不便。	女性	50 歳代
ホームページを見て必要な情報を見つけて確認しようとしたがうまく確認できない。パソコン操作しながら情報を伝えていくシステムがうまく機能していない気がする。そのためあまり利用しようという気にならない。この市民意識調査ではどれくらいの数を調査対象としているのか？ある程度数を確保できなければただこんなことをやりましたと言った形だけのもので内容的には意味がないものになると思う。経費の無駄ということにはならないのか。	女性	50 歳代
子育て世代は市の情報を利用することも多いと思いますが選挙年齢も下がったので20歳前後の青年向けのページも作って元気な鹿児島市を目指してもらいたいと思います。	女性	50 歳代
アンケートに答えて自分が全く無知で何も利用したことがないことに愕然としました。これからは利用していきます。	女性	50 歳代
市民に分かりやすい内容の案内にして欲しい。	男性	60 歳代

高齢化が進み、情報紙等アナログなものでも読むことが出来ない。関心が無い人々にどのように伝えていくか問題になってくる。現在、町内会を通じて情報提供が多いが、町づくりに関心を持ってもらうためには市内の企業、商店等に勤務する人々に、市の情報提供を徹底させることが重要と考える。また、コンサート等大きな催しの場合、おもてなしで鹿児島への再来を見込めるように一般への情報提供が必要。	男性	60 歳代
鹿児島の情報発信にもっと力をいれてほしい。対応が遅くもったいない。利用するぐらいになってほしい。	女性	60 歳代
市のホームページを見てみようと思います。	女性	60 歳代
スポーツの市の提供する場所や情報をまとめて掲載するページが欲しい。また国際交流の情報の案内や説明などの情報提供が欲しい。	男性	70 歳代
公共施設の花の見頃などを写真入りで紹介して欲しい。	女性	70 歳代

#### 【情報化に対する不安・不満】

携帯もパソコンも進化をとげ機能がよくなりすぎて実際に使いこなせません。	女性	10 歳代
情報化が進むことはとてもありがたいですが、子供の教育面では情報化が進むことにより書面にて文字を書くことが自分たちの時代より少なくなりました。分からない漢字や分からないことはスマートフォンやパソコンで検索することで出てくるので将来漢字を書ける子供たちが少なくなるのではないかと心配です。この情報化が福祉や医療や鹿児島がもっと住みやすい環境になることを期待したいと思います。自分自身でもパソコンやスマートフォンを使うことが多く変換で漢字などにするため文字を書くときにすぐ出てこないことも多くありました。	男性	20 歳代
インターネットを利用しておりとても便利な点もありますが通信技術の進展のスピードが速くてついていけないです。そして子供たちが利用することにより外での遊びが少なくなり自然と触れ合う機会も減ってしまうのではないかと不安に思います。インターネットも使い方によって個人情報漏えいなどもあるので積極的に利用はしていません。地域の活性化など生活のために活用できればいいのかなと思います。	女性	20 歳代
情報はとても便利でとても危険なものだと思う。それを見定めることができるように子供たちに教えることがとても大切だと思う。通信費の高額さをどうにかしてほしい。情報漏洩に関しては日々気をつけてガードしていくべき。	女性	30 歳代
情報化社会になり、子ども達もSNS等益々増えてくるかと思っています。それに伴い、SNSインターネットによるいじめトラブルを全国ニュースで知り、とても不安に感じています。小中学校高校でSNS等に対する倫理的教育をお願いしたいのと、又少なくとも小中学校ではSNSに頼らない環境を築いて頂けるのを願っております。	女性	30 歳代
無料WiFiの設置を増やす予算があればその他の政策に予算を割り当てた方がいいと思う。	男性	30 歳代
今以上の通信環境は不要だと思います。	女性	30 歳代

情報端末を小中学生に持たせることに不満がある。持たせる親にも責任があるが使う人の意思が重要なので子供への教育がおろそかになってはいけないと思う。交通や喫煙にかかわらずマナーの低下がみられるこのご時世行政にも啓発活動が必要だと思う。	男性	40 歳代
パソコンやスマホを利用する子ども(親も)、ネットワーク犯罪やSNS利用に際しての注意や知識を学ぶような講習を学校でも積極的に行って頂けるとありがたいです。	女性	40 歳代
大人から子供まで安心して利用でき分かりやすく使いやすい正しい情報化施策をお願いします。鹿児島市民が幸せに豊かな暮らしができるように。	女性	40 歳代
情報化施策が具体的に何なのか意味がわからないまま回答しました。何が変わるのか今までとどこが違うのかというのが正直な感想です。	女性	40 歳代
色々な場所で色々な情報を収集できる今日で使用する側のマナーを考えるべきだと思う。デジタル化はいいと思いますが高齢の方のためにアナログ的な部分があってもいいと思う。	女性	40 歳代
情報の真意。うその情報も多くの情報によって本当になってしまうことに不安。	女性	40 歳代
スマートフォンの普及によりいろんな情報が手軽に入手できるようになってきた。使う方も気をつけないといけない。身に覚えのない所から請求がきて、振り込め詐欺もあつたりするので、きちんと伝えなければいけないと思います。	女性	40 歳代
費用対効果を十分検討したうえで施策を進めてほしい。便利になっていくことは良いことだが今後税収も減っていく中その点を十分考慮頂きたい。	男性	40 歳代
すべてが情報化になると経費削減にはなると思うが人と人との面識がないと温かみがなくなり情報が混乱するだけで市として役割がなくなると思う。鹿児島は全国の自治体と同じではカラーがないのでサービスや行政の役割を今後も発揮していただきたい。	男性	50 歳代
時代の流れで情報化は必要不可欠で便利なものではありませんが、ひとりひとりの生活状況において内容がどうあてはまるかなど難しい文章だけでは、理解しづらい面があり、面倒くさくなります。やはり、マンツーマンで相談できる場が少なくなることがあります。鹿児島市役所、谷山支所の方々の親切な対応にいつも感謝しています。	女性	50 歳代
今は何でも機械に管理され情報はあふれているので人間同士のコミュニケーションの取り方が不十分だと思う。情報化により人付き合いが難しくなった。ボタンひとつで何でも調べられて話をする機会も少なく画面ばかり皆見ている。大人も子供も便利にはなったが何か対策はないでしょうか。心配です。	女性	50 歳代
情報化の便利さに必ず付随するリスクの対応に十分な配慮をお願いします。双方の天秤がそれぞれ振れながら鹿児島市の施策の発展を祈念しております。また熊本在住の娘が数日間避難所や車の中で過ごした際WiFiを通じて避難所の開設情報や食料飲料の配布情報など役に立ったと申しておりました。(デマもあったようですが)。	女性	50 歳代
ごく僅かな人の為だけのサービスが多く感じる。そこに税金予算を組み必要があるのか、人員が必要なのか考えて欲しい。	女性	50 歳代
ほどほどでよいと思う。	男性	60 歳代
際限のない設備投資は不用かと思えます。維持が大変になると思えます。	男性	60 歳代

自分はアナログ人間なので過度の情報技術の進歩はストレスがたまる。しかし、時代の流れにはある程度乗ってこのサービスを上手に利用していく事も必要かもしれない。	男性	60 歳代
情報化が実施されているのでしょうか。少々心配ですが、努力してください。	女性	60 歳代
情報モラルについて地域の一員として地域住民や子供を対象とした講演や講座を充実すべき。学校から保護者へはある程度進んでいるが本当に指導が必要な大人はなかなか参加していない。もっと地域を巻き込むことも必要。	男性	60 歳代
情報化について以下のように思います。いいことばかりが表に出て大事なことが失われていく気がする。メリットよりデメリットが多いのではと思う。	男性	60 歳代
この情報化社会は大きな革命だが一番大切な本来の人間の姿を忘れ機械に没頭することを懸念します。今回のポケモンGOがまさに本来の姿ではないと思います。進化することはいいと思いますが人間性がむしばまれるのは不安です。	女性	60 歳代
通信料金がもう少し安かったら自分もできるのにと思います。	女性	60 歳代
私はパソコンやインターネットと携帯は使っておりません。テレビやラジオで情報を知る程度です。市民への情報化施策にかかる経済的支出は大きいと思われませんが市民税を市民のために大切にに使っていただきたいと思います。市民の生活が安心安全で営まれるために本当に必要な情報とは何でしょうか。またスピーディーに的確にどのような方法で情報を伝達するのでしょうか。	女性	60 歳代
情報化は便利でとても良いのか、多くの方が利用されていると思います。ネット等を使わない私にはさほど必要性を感じていません。必要な時、市に電話なり直接問い合わせで会話をした方が、何かしら人間らしくて安心でき、理解できます。役所の方は大変かもしれませんが。	女性	60 歳代
情報化はこれからさらに進むと思うがトラブルも増えるのではないかと思います。	男性	70 歳代
青少年に対するネットなどの危険性を訴えていくことが必要だと思う。	男性	70 歳代
携帯電話は友達や家族の連絡ぐらい(メール)に使用しているだけです。質問の意味が難しい様なので分かりませんでした。お役に立てなくて申し訳ございません。	女性	70 歳代
昔と違って情報の多様化でそれに伴って犯罪も多様化しているように思う。	女性	70 歳代

### 【セキュリティ対策の充実】

WiFiサービスの提供はうれしいことだがセキュリティをしっかりと個人情報の漏えいがないようにしてほしい。情報化に伴う犯罪への対応をしっかりと行えるように取り組んでほしい。	男性	30 歳代
市でのセキュリティ対策が気になる。関連するサイトも警告が出て開くのをためらってしまう。	女性	30 歳代

情報化の時代なので、良い考えだと思います。しかし、個人端末から情報を流出してしまった場合、自己責任で終わりますが、年金機構のように行政が情報を流出してしまった場合、または、利便性の無いものを作った場合、「何の為に多額の税金を投入したのか…もっと、別な事に税金を投入すべきだ」と、抗議される事を踏まえて行っていただきたいです。	女性	30 歳代
情報の漏えいや入力ミスなどがないようにお願いします。そんなに情報化する必要があるのかしらと考えます。管理する方は、情報化した方が楽だと思いますが、管理される側や一般市民にはデメリット・リスクが多い印象です。	女性	50 歳代
情報がしっかり守られることを望みます。	女性	50 歳代
個人情報漏えい防止を図り進めていく必要があると思います。	男性	60 歳代
市の情報化はかなり進んでいますが情報の漏えいが一番心配。市民サービスの活用方法をより具体的に。	男性	70 歳代
電子署名及び認証業務に遺漏がないように。特に、個人情報の漏洩・ネットワーク介入に最大の防御をお願いします。	男性	70 歳代

#### 【その他】

チラシなどでの情報公開。	男性	10 歳代
今は仕事関係友人関係の利用が多いが少しずつでも市の情報に目を向けたいと思います。	男性	20 歳代
この調査は何人を対象に行われているか知りたい。	男性	20 歳代
観光も大切だと思いますがもっと市民が暮らしやすい楽しい街になるよう考えてほしいです。	女性	20 歳代
無作為に選ばれ、このアンケートが届くのは疑わしく回答したくない。こんな事に税金を使わず、職員で回答すれば良い。	男性	30 歳代
観光客がよく利用する市電について、車内での放送が運転手ごとに異なり戸惑いを覚えます。車内アナウンスは、すべて統一の放送など対応を同一にしてほしいです。また車内の無線の内容が乗客にまる聞こえで朝など特に不快です。情報化施策と直接関係はないかもしれませんが、情報の統一、無線の改善等よろしくをお願いします。	女性	30 歳代
関係ないですがコンビニの大人雑誌コーナーも大変迷惑です。	女性	30 歳代
子供たちの遊び場で体育館など一般の人たちが利用できたらいいなと思います。	女性	30 歳代
このアンケートが無駄にならないようにきちんと反映させてほしいです。	女性	30 歳代
マイナンバー制度について詳しく知りたい。	女性	30 歳代

統計などで数多く楽しみながら取ることをお勧めします。統計から世の中のことが分かるなどのところまでいっていません。公開される情報も面白くないです。SNSも変な人がいて大変です。有益な情報もないです。市役所の内部が分かる情報公開で市役所のことが身近に感じられるのも良いと思います。とにかく数多くの情報を集めることです。世の中が見えるまで。	男性	40 歳代
住みよい環境、きれいなまちづくり。(快適な生活を希望する)	女性	40 歳代
避難情報が早くて助かりますが範囲が広すぎて鹿児島市だけでは判断に困ることがある。	女性	40 歳代
避難場所がはっきりわからない。役所に聞いたがはっきりした答えは聞けませんでした。この地区はこの場所といわれてもそこがだめな場合の2番目3番目の場所や何を持っていくなど細かく知らない。地区の中で情報をまとめた物の資料を作成してほしい。	女性	40 歳代
市役所などどんな仕事をしているか見学や学べる機会があれば市民の一人としても興味があるので子供が夏休みなどに見学できるようにしてほしいです。	女性	40 歳代
吉野公園に室内施設を作してほしい。ただ広いだけでもつたいない。遊具をもっと充実させてほしい。	女性	40 歳代
この調査結果、集計結果を公表する場があるのか知りたい。	男性	40 歳代
役所用語を使用しないで表現する事が重要。観光、防災の表記は今のままでは不十分。英語、中国語に加えてロシア、ドイツ、フランス語を加えるべき。	男性	40 歳代
そもそも無作為とはいえこの調査票がどのような手順で届いたのか、個人情報の漏えいなのでは?と考えてしまう。	女性	40 歳代
市が発行する広報誌を月ごとに特集を組んで項目別にまとめていただきたい。	女性	40 歳代
頑張ってください。	男性	50 歳代
鹿児島市のお知らせ(テレビ、ラジオ、ポスター)などでも鹿児島弁を使っているのは古すぎる。何を言っているのかわからない。標準語で分かりやすく示してほしい。	女性	50 歳代
ずっと住み続けていたい鹿児島市なのでより良い市政策を望みます。	女性	50 歳代
いつまで市民意識調査は続くのですか。私には少し難しいことが多いので別の人をお願いしたい。	女性	50 歳代
自分の知りたい情報は自分で電話で聞くなりして探せるので今くらいの広報紙などで足りていると思う。	女性	50 歳代
何でも情報が入るので部落などの地域に入る必要はないと思っている人が多く困ります。子供が大きくなっても入っていない人がいます。ゴミ出しについても部落に入っていない人は地域で1か所のところに出すようにしてもらったらいいと思います。そのゴミ出しの掃除をするのも部落に入っている人です。どこの地域も困っています。市の力で良くしていただけないでしょうか。	女性	50 歳代
鹿児島市がこんなに情報を提供しているとは知らなかった。これから利用します。	女性	50 歳代
このアンケート自体が公平性に欠ける(URLを入力すれば、偏った人が何度でも回答できる)のではないかと思います。大変ですが、面倒でも無作為に抽出し、訪問アンケート等を実施しないと、正確な現状把握(市民意識調査)はできないでしょう。また、税金を投入する以上、民間企業と同様に「費用対効果」も検証して欲しいと思います。	男性	50 歳代

パソコンを持っていないので何とも言えない。携帯でしか情報を取り入れていない。	男性	60 歳代
公平公正な安心した町づくりのために情報化施策を実行してほしい。	男性	60 歳代
与次郎地区の空き地があったり廃墟のビルが長い間放置されているところが気になる。	男性	60 歳代
アンケート内容をもっと簡素化してほしい。	男性	60 歳代
賃金不払いをなくしてほしいです。	男性	60 歳代
市民の視点に立ってやってほしい。	男性	60 歳代
シルバー人材センターの施設と雇用対策のより一層の拡充をお願いしたい。	男性	60 歳代
車の安全に気を付けてほしい。正しい情報を伝えてほしい。高齢化の一人暮らしの人々にも声を掛けてほしい。高齢化の対策にもっと力をいれてほしい。子ども達の安全をもっと強化してほしい。近所の子供たち、高齢者の安全に声をかけてほしい。	女性	60 歳代
いちいちくだらないアンケートをしないで下さい。とにかく書類が多くて大変です。	女性	60 歳代
車なしでまわれるルートがあると良い。街だけでなく、谷山ルートまで。	女性	60 歳代
高齢者の院料についてのことと年金についてのこと。	女性	60 歳代
市は良く取り組んでいると思います。もっと緑を増やしてほしい。シンガポールのように緑が多い街だと人々のストレスも少なくなるだろうし印象も良くなると思う。情報化施策にかかわらずいろんな意見を取り込んでほしい。	女性	60 歳代
これからも高齢者にわかりやすい情報をお願いします。	女性	60 歳代
広報紙を月末配布はどうか。	女性	60 歳代
公共交通機関を利用し無料でなく気持ち料金は必要と思います。	女性	60 歳代
具体的に書きたいがどう書いていいのかわからない。相談窓口が色々あればよいと思う。どこに聞いていいのかわからないときがあるので。	女性	60 歳代
道に迷った時、美味しいお店を探す時、楽しい催しの情報を取る時 色々重宝しています	女性	60 歳代
コンビニは増えたが、高齢者にとっての雑貨等を手に入れるお店が激減し、不便になった地域があまりにも増えた。空き店舗及び空き家が増え続けている。	男性	70 歳代
慈眼寺駅ができる様に高架橋の横の方も看板を立ててください。現在は橋も通れません。買い物に行くのに毎日困っています。いつごろ区画整理は終わるのですか。よろしくお願いします。(現在資材置き場のあります。)	女性	70 歳代
私は鹿児島社会福祉協議会のいきいき推進事業に70歳から4年間登録しています。高齢者の車椅子の掃除とか、色々として65ポイントまでしました。本当は50ポイントしたら、交付金をいただけます。交付金は入りませんが、最近、下痢や吐き気があり、大きな病院に入院しました。入院しましたら、感染症にかかっているとのこと。そのため食事あまり進まず、点滴と抗生剤を毎日受け13日間入院しました。本当に一人暮らしでストレスもたまり、苦しい毎日を送りました。これからはゆっくりと暮らしていきたいと思っています。	男性	70 歳代
今後も市民が楽しく明るい人生のため一層の関心を持つ情報化に頑張ってください。	男性	70 歳代
選挙の時、投票所が遠くて行きにくいので、ぜひデパートなどに数日間でも期日前投票所を作って欲しいと思います。	女性	70 歳代



高齢者向けの市営住宅をつくって欲しい。	女性	70 歳代
天文館通りは車も多く歩道の道の悪さを感じる。	女性	70 歳代
高齢化が進む中その範囲に達することがおぼつかなくなり、でも体だけは丈夫でほとんど病院には行かず福祉の温泉プールなどを利用しています。ありがたいです。今後もよろしくをお願いします。	女性	70 歳代
毎日仕事お疲れ様です。今後ますます鹿児島市が発展するよう住みやすい街作りに老若男女頑張っていけるとよいですね。	女性	70 歳代
このアンケートが役に立つのか疑問に思う。私たちは昭和の時代がとても良かったです。今回のアンケートは少し難しいでした。年金も少ない中なんとか一日一日静かに過ごしています。	女性	70 歳代
分かりにくい語句が多い。誰にでも理解できるような表現の仕方をお願いしたい。なじみのない言葉や語句が多くなっている。アナログ世代にも分かりやすくしてもらいたい。	不明	70 歳代
地域の公民館には情報紙が置いていない。情報紙を置けば情報の効率化に役立つのではないか。	男性	70 歳代
市からの情報を知らせる女子のアナウンサーの放送があまりに下手で聞きにくくて嫌でなりません。もう少し上手な方を選んで放送されます様をお願い致します。	女性	70 歳代
アンケートを取った後はどのように対処しているでしょうか。無作為に選ばれたと書かれていましたが知識のある方や情報化に少しでも携わっていらっしゃる方もアンケートに協力してもらいどこを対象にして改善していくべきかを良く分かっている方々の意見も必要かなと思う。話は違うかもしれませんが旅行者(特に海外の方)にも分かるように親切的な標識や絵を取り入れて表示されてあるといいのと思う。自分たちの町だから私たちもためになると思います。鹿児島が活性化していくために。	男性	70 歳代
なんとか生きているから大丈夫でしょう。	不明	不明